SONY®

3-274-542-**05**(1)

DIGITAL PHOTO ALBUM

ハイビジョン メディア ストレージ

HDMS-S1D

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

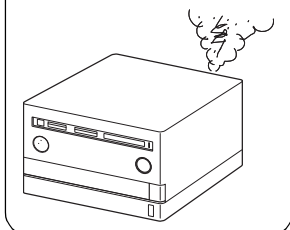
5 ～ 11 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

設置時や 1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

目次

写真をプリントする

パソコンとつなぐ

設定を変更する

その他

警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
熱器具に近づけない。加熱しない。
移動させるときは、電源プラグを抜く。
電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
➡万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

本機の上に水が入ったものや、重たいものを置かない

感電や故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機やACアダプターの上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機やACアダプターを水滴のかかる場所に置かないでください。
➡万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

付属以外のACアダプターを使わない

火災や感電の原因となります。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体や AC アダプターを風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。
➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞いてください。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

コード類は正しく配置する

電源コードや映像・音声コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

通電中、本体や AC アダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。
必ず電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。再生中に電源プラグを抜くと、故障の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

使用後は“メモリースティック(標準タイプ)”を抜く

“メモリースティック(標準タイプ)”は、装着時に本体前面より出ているため、けがの原因になることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

接触禁止

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

指示

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠注意

指定以外の電池を使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

➡マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

指示

必ずお読みください

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、大量の画像を保存することができます。
その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動､衝撃を与えない｡
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない｡
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない｡
- 急激な温度変化(毎時 10 ℃以上の変化)のある場所では使用しない｡結露(露つき)の原因となります｡
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない｡
- 電源が入っているときは､電源プラグをコンセントから抜かない｡
- 本機を移動する場合､電源を切り､電源プラグをコンセントから抜いて 1 分以上待ってから､振動､衝撃を与えずに行う｡
- 故障の原因となるため､お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない｡

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理･点検の際､不具合症状の発生･改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります｡ただし､タイトルなどのファイルを弊社で複製･保存することはありません｡
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は､弊社の判断で初期化を行わせていただきます｡ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)｡
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては､弊社の責任のもとで､事業協力会社に作業を委託する場合を含め､第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように､合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います｡

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。
電源が切れる前やハードディスクが動作しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビなどでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

本機は、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器等の記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

この装置には、シールドタイプのネットワークケーブルを使用してください。ノンシールドケーブルを使用すると、ラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあります。

輸送について

本機を単独で輸送する場合は、お買い上げ時の梱包箱を使用してください。本機を移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

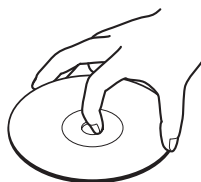
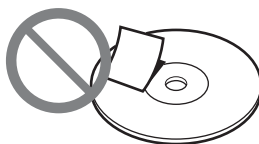
結露現象について

急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して1時間以上待ち、それから電源を切ってください。

メモリーカードの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など、気温が高い
  - 直射日光があたる
  - 湿気の多い
  - 腐食性のものがある
  - ほこりが多い
  - 静電気や電気的ノイズの影響がある
  - 磁気の影響がある
- 持ち運びや保管の際は、カードに付属の収納ケースに入れてください。
- 本機でカードを使用中に、カードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。データの読み込みができなくなる場合があります。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。記録面に触れないでください。

- ディスクに紙などを貼ったりしないでください。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 記録用ディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- 記録用ディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

ディスクに関するご注意

- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。
- 記録済みのディスクは、傷や汚れ、記録状態や記録機器、CD/DVD記録ソフトの特性などにより、読み込みができないことがあります。また、ファイナライズ処理を正しく行っていないディスクは読み込めません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- ディスクを認識している間に ⏏（開/閉）ボタンを押すと、認識が終了してからディスクトレイが開きます。また、ディスクに傷や汚れがある場合は、認識するまでに最大で3分程度かかることがあります。

ACアダプターについて

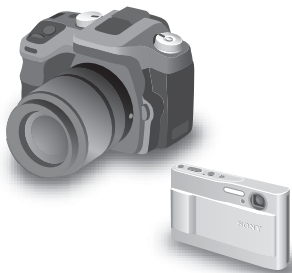
ACアダプターはコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

- ACアダプターを本棚や組み込みキャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- ACアダプターを海外旅行者用の電子式変圧器などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

キャビネットのお手入れ

柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

こんなことができます

デジタルスチルカメラの写真をかんたんに取り込む

デジタルスチルカメラで撮影した写真を、かんたんに本機へ取り込めます。

すべての写真を本機に取り込む（27 ページ）

写真やフォルダを選んで本機に取り込む（29 ページ）

スクラップブックを楽しむ（x-ScrapBook）

本機に写真を取り込むと自動で作成されます。
壁紙（23種類）を変えたり、自分でオリジナルのスクラップブックを作れます。

スクラップブックを楽しむ（x-ScrapBook）（37 ページ）

フォト作品を楽しむ（x-Pict Story HD）

本機に写真を取り込むと自動で作成されます。
オリジナルのフォト作品を作成でき、30種類のオリジナルサウンドのほか、音楽CDからお気に入りの曲を取り込んで、BGMにします。

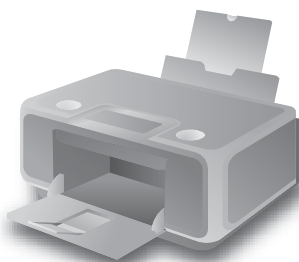
アルバムの写真を使ってフォト作品にして楽しむ（x-Pict Story HD）（45 ページ）

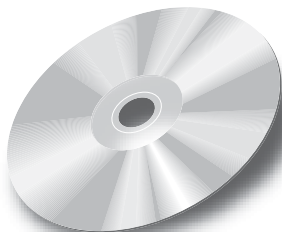
“BRAVIA”で高品質の写真を楽しむ

本機に取り込んだ写真を、テレビで楽しめます。
HDMIケーブルでつなぐと、高品質な写真を楽しめます。
さらに“ブラビア プレミアムフォト”対応の“BRAVIA”とつなぐことにより、テレビに最適な色合いでより高品質な写真を楽しめます。

テレビにつなぐ（18 ページ）

かんたんにプリントして楽しむ

PictBridge対応のプリンターとつないで、パソコンなしでかんたんに写真やスクラップブックをプリントできます。

PictBridge 対応プリンターでプリントする（54 ページ）

ディスクにコピーして、保存する

お気に入りの写真などをディスクにコピーすれば、友人にプレゼントしたりお店でプリントするなど、写真をさらに楽しめます。

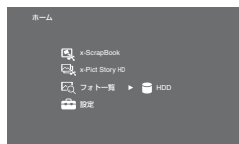
メモリーカードやディスクに記録する（53 ページ）

基本的な画面操作

基本的な画面の使いかた

ホームボタンを押し、↑↓←→ボタンで、画像またはメニュー項目を選びます。

前の画面に戻るには、戻るボタンを押します。

画面の種類

ホームメニュー

メニュー一覧を表示します。

サムネイル一覧

写真の一覧画面を表示します。

電源を入れると、直前に表示していた画面が表示されます。

決定ボタンを押して、決定します。

各種機能を使うには、オプションボタンを押します。

表示されるオプション項目は、画面によって異なります。

メニュー一覧を閉じるには、もう一度オプションボタンを押します。

フル画面

写真を画面サイズに合わせて表示します。

画面表示ボタンを押すと、画面上下に情報を表示したり消したりできます。

詳細情報

詳細情報ボタンを押すと、写真の撮影日などを表示します。

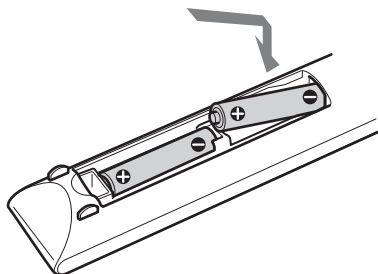
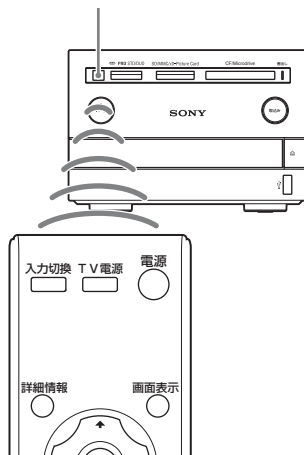
付属品を確認する

下記の付属品がすべてそろっているかご確認ください。万一、不足や破損がある場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口までお知らせください。

- 電源コード（1 本）
- AC アダプター（AC-LX1M）（1 個）
- 映像・音声コード（1 本）
- リモコン（1 個）と
  単 3 形（R6）乾電池（2 個）

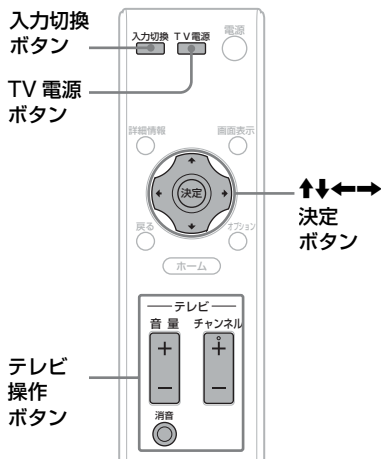
- 取扱説明書（本書）
- かんたん操作ガイド
- 保証書
- ソフトウェアライセンスに関する重要なお知らせ
- ソニーご相談窓口のご案内
  （各 1 部）

リモコンを準備する

リモコンに単 3 形乾電池（付属）を 2 個入れます。⊕ と ⊖ の向きをリモコンの表示に合わせます。

リモコンを使うときは、リモコンを本体のリモコン受光部 🅁 に向けて操作します。

ご注意

リモコンを使うときは、リモコン受光部 🅁 に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

リモコンを設定する

リモコンをお手持ちのテレビのメーカー番号に合わせると、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量・電源を操作できます。お買い上げ時はソニーの🄡マーク付きテレビを操作できるよう設定されています。

TV 電源ボタンを押しながら、次の表にしたがって、「1 番目に押す」「2 番目に押す」の順にボタンを押す。

例：NEC のテレビを使用するときは、TV 電源ボタンを押しながら、→、← の順に押してください。

テレビのメーカー	1 番目に押す	2 番目に押す
ソニー 1 (🄡マーク付き)	決定ボタン	↓
ソニー 2	→	↓
アイワ	↑	決定ボタン
松下電器 1	決定ボタン	→
松下電器 2	←	↑
東芝	決定ボタン	←
日立	決定ボタン	↑
三菱	↓	→
ビクター	↓	←
サンヨー 1	↓	↑
サンヨー 2	←	↓
シャープ 1	↓	決定ボタン
シャープ 2	←	→
NEC	→	←
パイオニア	→	↑
富士通ゼネラル	→	決定ボタン
フナイ	←	決定ボタン
三星電子 (SAMSUNG)	↑	→
コルティナ / 三星	↑	↓

ヒント

リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー設定をやり直してください。

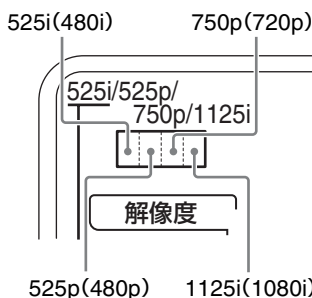
ご注意

- 操作できないときは同じメーカーのもう 1 つの方法で設定してください。
- 消音ボタンはソニー製テレビにのみ使用できます。
- 入力切換ボタンはソニー製テレビの入力を切り換えられます。

テレビにつなぐ

本機とテレビをつないで、本機に保存した画像をテレビで見ることができます。お手持ちのテレビの接続端子にあわせて、本機とテレビを接続してください。
テレビの解像度に合わせて、本体後面の解像度切り換えスイッチを合わせます。

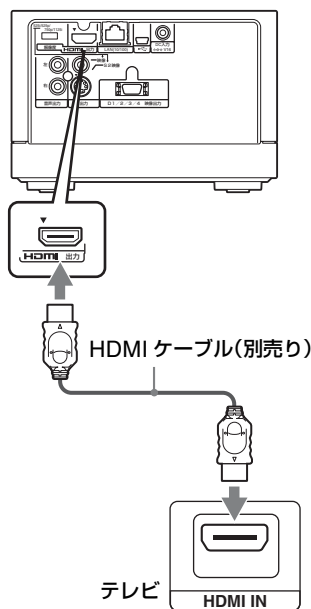
525i（480i）：すべての端子から映像を出力します。
525p（480p）、750p（720p）、
1125i（1080i）：HDMI 端子、D 映像出力端子から映像を出力します。

解像度について詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビの解像度に合わせて、解像度切り換えスイッチを切り換えてください。

ご注意

- ハイビジョン画質でご覧になるには、お使いのテレビの解像度が 750p（720p）か 1125i（1080i）に対応している必要があります。
- コードのプラグは端子の奥までしっかり差し込んでください。
- コードをつなぎ直すときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- コード類を踏まないように注意してください。

HDMI ケーブルでつなぐ

本機の HDMI 出力端子に HDMI ケーブル（別売り）をつなぐと、1 本で映像と音声を出力できます。デジタルで劣化の少ない高精細映像と音声が楽しめます。

ヒント

- 映像設定メニューの［解像度設定］を［HDMI 優先］に設定してください（67 ページ）。
- 本体後面の解像度切り換えスイッチを［750p］か［1125i］に合わせてください。

HDMI* コントロール機能を使う

HDMI コントロール機能に対応しているソニー製テレビをお使いの場合、HDMI コードをつなぐだけで下記のような簡単な操作ができます。

- 本機の電源を「入」にすると、テレビの電源も「入」になります。
- テレビの電源を「切」にすると、本機の電源も「切」になります。

• 本機のホームボタンを押すと、テレビの入力切換が本機の接続されている入力に切り換わります。

HDMIコントロール機能を使うには

本体設定メニューの［HDMIコントロール］を［入］に設定してください（66ページ）。

写真をよりよい画質でご覧になるには

“ブラビア プレミアムフォト”に対応したソニー製テレビをお使いの場合、以下の接続と設定にすることで、よりよい画質で本機の写真をご覧になれます。

1 “ブラビア プレミアムフォト”に対応したソニー製テレビと本機をHDMIケーブル（別売り）で接続する。

2 テレビの映像設定を「ビデオ -A」モードにする。

「ビデオ -A」モードについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

“ブラビア プレミアムフォト”とは

“ブラビア プレミアムフォト”とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。“ブラビア プレミアムフォト”対応ソニー機器同士の組み合わせで、写真を今までになかった感動のFull HD高画質でお楽しみいただけます。
人肌や花びらの繊細な描写、砂浜や波の質感など、美しいフォト画質を大画面でお楽しみいただけます。

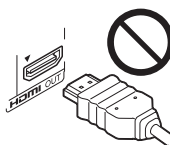
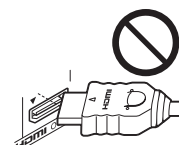
ヒント

Adobe RGBモードで撮影した画像をご覧になるには、お使いのテレビの映像設定を[sYCC]モードにしてください。本機では、Adobe RGB画像も含めて、再生画像の色空間をsYCCに変換して出力します。

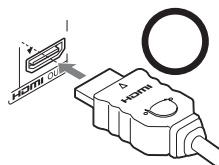
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

HDMI出力端子につなぐときのご注意

HDMIケーブルをつなぐ際は、HDMI出力端子やケーブルプラグを破損しないように、下記に注意してください。

プラグの上下を逆にしたり、横から差し込まないでください。

プラグの上下を逆にしないでください。

プラグを横から差し込まないでください。

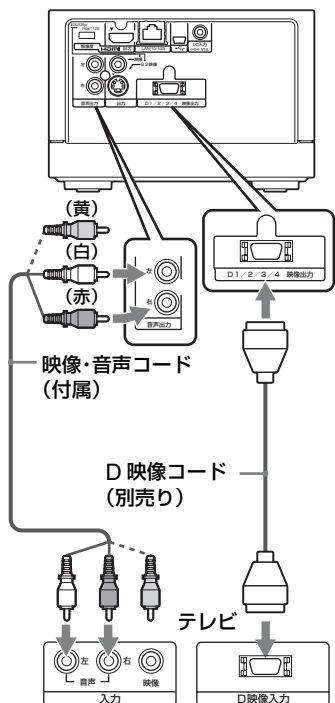
プラグを正面からまっすぐに差し込んでください。

プラグを曲げたり、強い力を加えたりしないでください。

ご注意

• 本機を移動するときは、必ずHDMIケーブルを抜いてください。
• HDMIケーブルをつないで本機をキャビネットの中などに設置している場合は、壁に押しつけないでください。端子やプラグが破損する原因となることがあります。
• HDMIケーブルを抜き差しするときは、プラグをねじったり回したりしないでください。

* HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

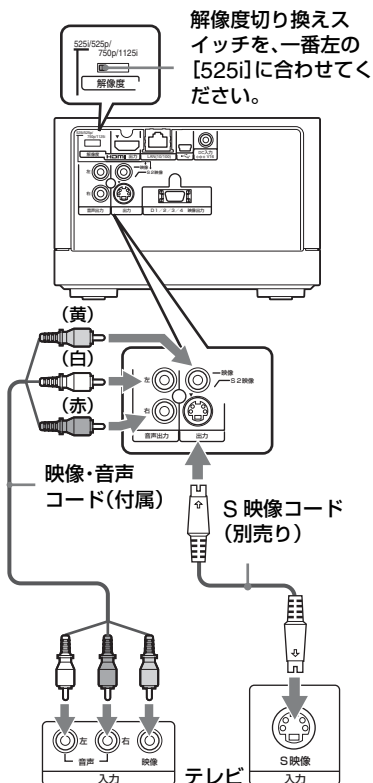
D 映像コードでつなぐ

本機の D 映像出力端子に D 映像コード（別売り）をつないで、コンポーネント映像を出力します。映像本来の色を忠実に再現します。
D 映像コードだけでは音声が出力されません。付属の映像・音声コードを必ず音声出力端子に接続してください。

プラグと端子の色を合わせてください。

ヒント

D 映像コードをつなぐときは、映像コード（黄）をはずしてください。

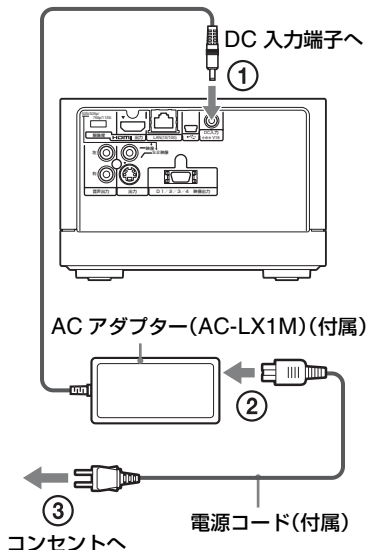
S 映像コードや映像・音声コードでつなぐ

本機の映像・音声出力端子に映像・音声コード（付属）をつないで、標準的な映像を楽しめます。映像コードのかわりに S 映像コード（別売り）を S2 映像出力端子につなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。解像度切り換えスイッチを、一番左の［525i］に合わせてください。
出力信号は 525i（480i）固定となります。

プラグと端子の色を合わせてください。

ヒント

S 映像コードをつなぐときは、映像コード（黄）をはずしてください。

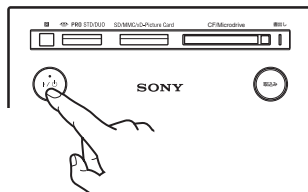
電源につなぐ

ACアダプター（付属）を下図の①、②、③の順でつなぎます。
取り外す場合は③、②、①の順で行ってください。
「使用上のご注意」の「ACアダプターについて」（11ページ）もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機を移動する場合、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、1分以上待ってから、振動・衝撃を与えずに行ってください。
  本体設定の［HDMIコントロール］が［入］になっているときは、［切］に設定してから行ってください。
- 付属のACアダプター（AC-LX1M）以外は使わないでください。
- 電源コードは、必ずすべての接続が終わってからつないでください。

本機の電源を入れる

1 テレビの入力を切り換える。

2 I/⏻ ボタンを押して、本機の電源を入れる。

本体のI/⏻ボタンのランプが赤から緑に変わります。
はじめて電源を入れたときは、時計を設定する画面が表示されます。設定方法については、「時計を合わせる」（22ページ）をご覧ください。

電源を切るには

本体のI/⏻ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押します。

動作しないときは

本機を強制終了させてください。詳しくは、「本機を強制終了するには」（74ページ）をご覧ください。

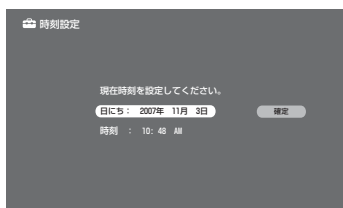
ご注意

I/⏻ボタンが赤になっていても、本機が動作していることがあります。書出しランプ・取込みボタンが消灯していることを確認してから、電源コードをコンセントやDC入力端子から抜いてください。

時計を合わせる

お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは時刻設定画面が表示されます。画面にしたがって設定を行ってください。

1 **[日にち]を選び、決定ボタンを押す。**

2 **←→で設定したい項目(年、月、日)を選び、↑↓で設定する。**

↑↓で選び、決定ボタンを押します。

3 **[時刻]を選び、決定ボタンを押す。**

4 **←→で設定したい項目(時、分、AM/PM)を選び、↑↓で設定する。**

↑↓で選び、決定ボタンを押します。

5 **[確定]を選び、決定ボタンを押す。**

ヒント

時刻設定をやり直すときは、ホームボタンを押して、設定メニューの［本体設定］－［時刻設定］を選んでください。

ご注意

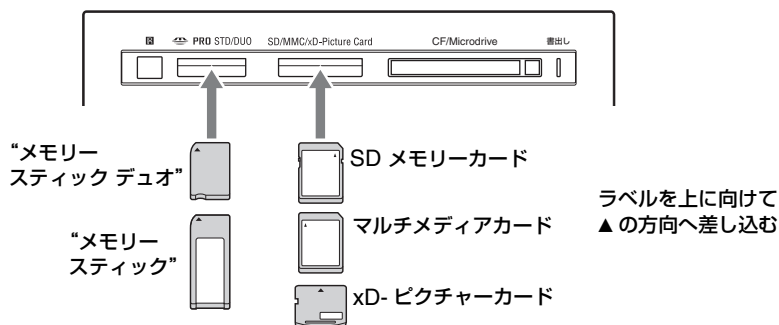
- 本機で扱える日付は、2007年1月1日から2030年12月31日までです。
- はじめて電源を入れたときは、必ず時刻設定を行ってください。

写真を取り込むための準備

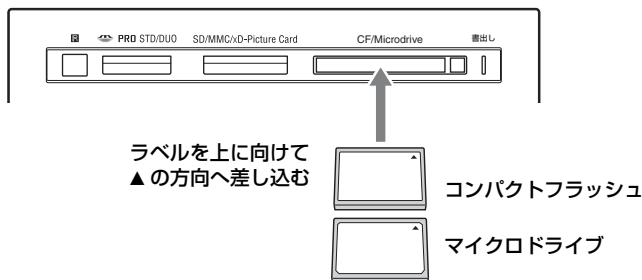
メモリーカードの差し込みかた / 取り出しかた

“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”、または SD メモリーカード(SD) / マルチメディアカード(MMC) / xD- ピクチャーカード(xD)を入れる

メモリーカードをそれぞれに対応するスロット（挿入口）にしっかりと差し込みます。

“メモリースティック マイクロ”（“M2”）や miniSD/microSD カードをご使用のときは、別売りの“M2”や miniSD/microSD アダプターが必要です。

カードを取り出すときは、そのままつまんで引き出します。

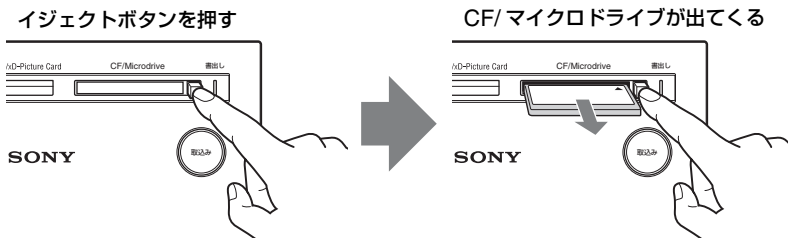
コンパクトフラッシュ(CF) / マイクロドライブを入れる

コンパクトフラッシュまたはマイクロドライブを奥まで差し込みます。

“メモリースティック デュオ”とは

デジタルカメラ、携帯電話で広く使われているソニーが開発したメモリーカードです。

ご使用をお勧めします。

CF / マイクロドライブを取り出すには

イジェクトボタンを押し込んでから手を離すと、CF/ マイクロドライブが少し出てきます。つまんで取り出してください。

ご注意

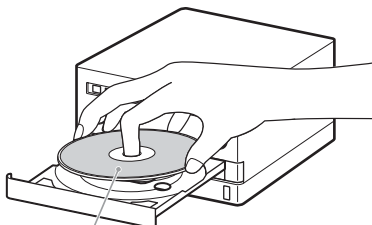
- 本機の電源が入っているときにメモリーカードを 2 枚以上差し込んだ場合、最初に差し込んだメモリーカードを認識します。
- 本機では、標準の"メモリースティック"と"メモリースティック デュオ"のどちらのサイズも使用できます。"メモリースティック"のサイズを自動的に判定するため、"メモリースティック デュオ"アダプターは不要です。
- ひとつのスロット（挿入口）に 2 枚以上のメモリーカードを差し込まないでください。故障の原因になります。
- メモリーカードは、向きを確かめてから入れてください。
- メモリーカードをまっすぐに差し込んでください。無理に押し込むとメモリーカードや本機を破損するおそれがあります。
- 取り込み中や書き出し中にメモリーカードを取り出さないでください。データ破損の原因になります。
- "メモリースティック マイクロ"、miniSD/microSD カードを"M2"または SD アダプターなしで使用すると、取り出せなくなるおそれがあります。
- メモリーカードは、幼児などが誤って飲み込まないよう、手の届かない場所に保管してください。
- メモリーカードは必ず指定のスロット（挿入口）に差し込んでください。
- 差し込まれているメモリーカードに強い力を加えないでください。故障の原因になります。

ディスクの入れかた / 出しかた

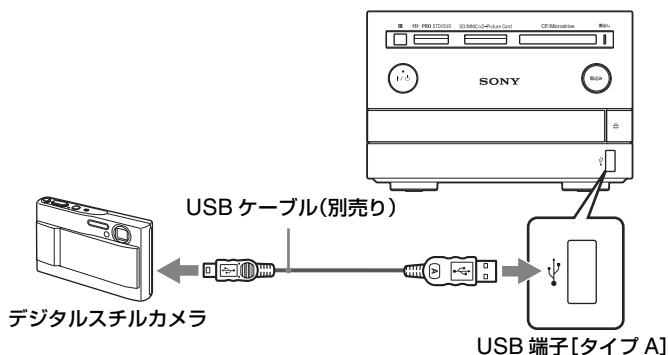
本機で使用できるディスクについては、78 ページをご覧ください。
本機の電源を入れ、次の手順にしたがってください。

1 **本体の ⏏(開 / 閉)ボタンを押す。**

ディスクトレイが開きます。

2 **ディスクを入れる。**

3 **もう一度、本体の⏏(開/閉)ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

デジタルスチルカメラなどの USB 対応機器とつなぐ

USB ケーブル（別売り）で、デジタルスチルカメラの USB 端子を本機前面の USB 端子につなぎます。

ヒント

- デジタルスチルカメラの電源を入れてから本機につないでください。
- 上記のようにつないでも、「非対応デバイス」と表示されるときは、デジタルスチルカメラの USB 接続設定を変更してください。詳しくは USB 対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- PTP 接続では標準（マスストレージ）接続に比べて、データの読み込みに時間がかかりますので、標準での接続をお勧めします。
- USB 接続とメモリーカードの両方が利用できる場合は、メモリーカードを直接本機に挿入した方が、より高速に取り込みや再生ができます。

ご注意

- 本体後面の USB 端子［mini-B］につないだ場合、認識しません。本体前面の USB 端子［タイプ A］につないでください。
- 両端がそれぞれ［タイプ A］、［mini-B］の USB ケーブルをお使いください。

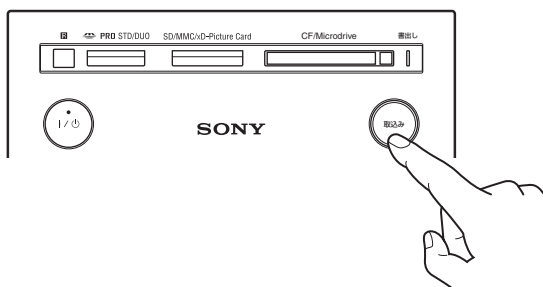
すべての写真を本機に取り込む

本機にメモリーカードやディスクを入れたり、デジタルスチルカメラをつないで取込みボタンを押すだけで、写真を取り込めます。すでに本機に取り込まれた写真がある場合は、取り込まれていない写真だけを選んで取り込みます（差分取り込み）。

1 写真を取り込みたいメモリーカードやディスクを入れる（23 ページ）**。**

デジタルスチルカメラから取り込むときは、USB 端子につないでください（26 ページ）。

メディアを認識すると、本機の取込みボタンが白く光ります。

2 取込みボタンを押す。

取込みボタンが白から赤に変わり、取り込みを開始します。

取り込みを終えるには

取込みボタンが赤から白に変わり、取り込みを終了します。

取り込んだ写真、アルバム、作成された x-ScrapBook、x-Pict Story HD の数が表示されます。［確認］を選んで、決定ボタンを押し、メモリーカードやディスクを取り出してください。

電源を入れずに取り込むには

メモリーカードやデジタルスチルカメラから取り込む場合、本機の電源を入れなくても、取込みボタンを押すだけで写真を取り込めます。

取込みボタンを押すと、取込みボタンがゆっくり赤く点滅してメディアを認識し、その後、赤く点灯して取り込みを開始します。取込みボタンが消灯すると取り込みは完了します。

次に本機の電源を入れたときに、取り込んだ写真などの数を表示します。

ハードディスクの残り容量を確認するには

本体設定メニューの［機器情報］（67 ページ）で確認します。

写真の保存先とアルバム名について

本機に写真を取り込むと、自動的にアルバムが作成され、その中に保存されます。アプリケーション設定メニューの［自動分類］を［入］に設定しておくと（66 ページ）、アルバム名は作成された順に［アルバム 0001］［アルバム 0002］と付けられます。

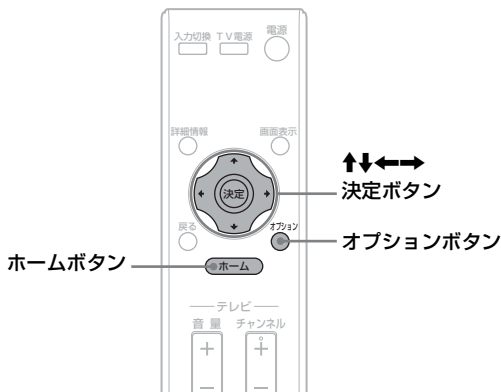
ヒント

- パソコンから本機へ写真をコピーして取り込むこともできます（「パソコンとつなぐ」56 ページ）。
- デジタルスチルカメラ、メモリーカード、ディスクが同時に接続されていたときは、次の優先順位で、どれか一つのメディアから写真を取り込みます。
  – デジタルスチルカメラ
  – メモリーカード（一番左のスロット（挿入口））
  – ディスク
- 本機の電源が入っているときに複数のメモリーカードを挿入した場合は、最初に挿入したメモリーカードを優先して取り込みます。
- x-ScrapBook、x-Pict Story HD 自動生成モードになっている場合は、取り込み完了と同時に x-ScrapBook や x-Pict Story HD（フォト作品）が作成されています（66 ページ）。

ご注意

- データの転送速度は、メモリーカードやディスク、使用環境によって異なります。
- マジックゲートで保護されたデータのように、暗号化されているものは、本機へ取り込めません。
- 写真の取り込み中に中止した場合は、写真は取り込まれず、元の状態に戻ります。
- x-ScrapBook、x-Pict Story HD の作成中に中止した場合は、すべての写真とその時点までに作成された x-ScrapBook、x-Pict Story HD が自動作成されます。
- 本機で再生できないフォトも取り込めますが、再生はできません。また、x-ScrapBook や x-Pict Story HD の作成にも利用できません。
- 取り込み中に本機の電源を切る操作をした場合は、画面は消えますが、取り込みは続いて行われます。取り込みが終わってから、完全に電源が切れます。
- 1 つのフォルダ内の写真が 10000 枚以上の場合は、9999 枚ごとに分割されたアルバムとして取り込まれます。ただし、フォルダの中にさらにサブフォルダがある場合など、サブフォルダ内の写真はこの合計には含みません。
- 写真の取り込みでは、写真名として元の写真のファイル名を利用します。ただし、本機で扱える文字は、日本語と英語のみになります。それ以外の言語 / 文字で表現された名前は正しく取り込み、表示することができません。

写真やフォルダを選んで本機に取り込む

1 枚の写真を選んで取り込む

1 **写真を取り込みたいメモリーカードやディスクを入れる(23 ページ)。**
デジタルスチルカメラから取り込むときは、USB 端子につないでください(26 ページ)。

2 **ホームボタンを押す。**

3 **[フォト一覧]を選び、決定ボタンを押す。**

4 **取り込みたいメディアや外部機器にあわせて項目を選び、決定ボタンを押す。**

5 **取り込みたい写真を選び、オプションボタンを押す。**

6 **[フォト取込み]を選び、決定ボタンを押す。**

7 **[はい]を選び、決定ボタンを押す。**

8 **取り込み先のアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

取り込みを開始します。

ヒント

- 写真をアルバム（フォルダ）ごと取り込むときは、手順 **6** で［アルバム操作］－［取込み］を選び、同様に操作してください。
- 本機では、取り込むメディアのアルバム（フォルダ）を 16 階層まで表示します。

ご注意

- 写真やアルバム（フォルダ）を指定して取り込む場合は、すでに本機に取り込んだ写真も取り込まれます。
- 残り時間の表示は目安です。表示時間が進んだり遅れたりすることがありますが故障ではありません。
- １つのフォルダ内の写真はファイル名順に 9999 枚まで表示されます。これを超える写真は表示 / 選択できませんが、アルバム（フォルダ）ごと取り込むことで、すべての写真を取り込み、再生することができます。

複数の写真を選んで取り込む

1 **29 ページの手順 5 の後、[複数フォト操作] を選び、決定ボタンを押す。**

2 **[選択取込み] を選び、決定ボタンを押す。**

3 **取り込みたい写真を選んで、決定ボタンを押す。**

複数の写真を取り込むときは、手順 **3** を繰り返してください。
全選択：リスト上の写真をすべて選びます。
全選択解除：選んだ写真をすべて取り消します。

4 [確定]を選び、決定ボタンを押す。

5 [はい]を選び、決定ボタンを押す。

6 取り込み先のアルバムを選び、決定ボタンを押す。
新しいアルバムを作るには、[新規作成]を選んで決定ボタンを押します。
取り込みを開始します。

ヒント

手順 **1** で［複数アルバム操作］を選ぶと、複数のアルバム（フォルダ）をまとめて取り込めます。

ご注意

- アルバム（フォルダ）や写真を指定して取り込む場合は、すでに本機に取り込んだ写真も取り込まれます。
- １つのフォルダ内の写真は名前順に 9999 枚まで表示されます。これを超える写真は表示 / 選択できませんが、アルバム（フォルダ）ごと取り込むことで、すべての写真を取り込み、再生することができます。
- 写真やフォルダの取り込みでは、写真名やアルバム名として元の名前を利用します。ただし、本機で扱える文字は、日本語と英語のみになります。それ以外の言語 / 文字で表現された名前は正しく取り込み、表示することができません。

写真を見る（フォト一覧）

本機に保存された写真を表示します。

1 ホームボタンを押す。

2 ［フォト一覧］を選び、決定ボタンを押す。

3 ［HDD］を選び、決定ボタンを押す。

4 見たい写真を選び、決定ボタンを押す。

写真が画面全体に表示されます。← → を押すと、前後の写真を表示します。画面表示ボタンを押すと、画面上下に情報を表示したり消したりできます。

ご注意

- 本機で再生できる写真は、圧縮形式が JPEG 形式で、ファイル名形式が DCF 形式 * のものと、SRF、SR2、ARW フォーマットで記録された RAW ファイル中のサムネイルです（79 ページ）。

  * （社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格 “Design rules for Camera Files systems” のことです。
- DCF 形式以外の JPEG 形式の写真（パソコンで加工した静止画像など）では、一部の機能が正しく動作しないことがあります。

- ファイルサイズが大きい写真は、表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 次の画像は再生できません。
  – 縦 4097 ドットまたは、横 6145 ドット以上の JPEG 画像
  – 縦または横のいずれかが、63 ドット以下の画像
  – プログレッシブ JPEG の画像
  – ファイルサイズが 16 MB 以上の JPEG 画像
- 極端に細長い画像は再生できないことがあります。

再生中にオプションボタンでできること

表示される項目は、状況によって異なります。

項目	できること
標準 / 全画面	[標準]:写真の幅または高さに合わせて写真全体を表示します。画面の上下左右に黒い枠が出ることがあります。[全画面]:テレビの画面サイズに合わせて写真を表示します。写真の上下左右が欠けることがあります。
スライドショーの速さ	スライドショーの表示の速さを設定します(36 ページ)。
スライドショー/ 一時停止	スライドショーを再生 / 一時停止します(36 ページ)。
等倍表示	写真をそのままの大きさで表示します。
回転(右)	写真を右回りに 90 度回転します。
回転(左)	写真を左回りに 90 度回転します。
名前変更	写真の名前を変更します(50 ページ)。
タグ設定	写真に、「運動会」「誕生日」など、任意のキーワード(タグ)を設定します。
印刷	写真を印刷します(54 ページ)。
書出し	写真をメモリーカードやディスクに書き出します(53 ページ)。
情報表示	詳細を表示します。
非表示設定 / 非表示解除	写真を非表示 / 表示に設定します。[非表示設定] を選んだ写真は表示されません。

サムネイル一覧表示中にオプションボタンでできること

表示される項目は状況によって異なります。

項目	できること
並び替え	[日付順(新しい順)]、[日付順(古い順)]、[マーク順]、[生成順] に並び替えます。
ジャンプ	日付やマークなど、サムネイルの並び順に応じて、見たいアルバムへすぐに移動できます。
タグ検索	「運動会」「誕生日」など、設定されたキーワード(タグ)で検索します。
月日検索	撮影した月日をもとに、写真を検索します。
複数アルバム操作	アルバムをまとめて書き出します(53 ページ)。
複数フォト操作	フォト操作(34 ページ)のいくつかの項目を、複数の写真に対して行います。
検索結果　前へ	前の検索結果を表示します。

項目		できること
検索結果　次へ		次の検索結果を表示します。
表示		アルバム内の写真を表示します。
スライドショー		アルバム内の写真をスライドショーで再生します（36 ページ）。
x-ScrapBook 作成		x-ScrapBook を作成します（42 ページ）。
x-Pict Story HD 作成		x-Pict Story HD を作成します（48 ページ）。
アルバム操作	コピー	選んだ写真を含むアルバムをコピーします。
	消去	選んだ写真を含むアルバムを消去します（52 ページ）。
	分割	選んだ写真を含むアルバムを 2 つに分割します。
	統合	選んだ写真を含むアルバムを、他のアルバムと統合します。
	名前変更	選んだ写真を含むアルバムの名前を変更します（50 ページ）。
	マーク設定	選んだ写真を含むアルバムにジャンルのマークを設定します。
	印刷	選んだ写真を含むアルバムの写真をすべて印刷します（54 ページ）。
	書出し	選んだ写真を含むアルバムを、メモリーカードやディスクに書き出します（53 ページ）。
	情報表示	選んだ写真を含むアルバムの詳細を表示します。
フォト操作	コピー	写真をコピーします。
	消去	写真を消去します（52 ページ）。
	回転（右）	写真を右回りに 90 度回転させます。
	回転（左）	写真を左回りに 90 度回転させます。
	非表示設定 / 非表示解除	写真を非表示 / 表示に設定します。[非表示設定] を選んだ写真は表示されません。
	名前変更	写真の名前を変更します（50 ページ）。
	タグ設定	写真に、「運動会」「誕生日」など、任意のキーワード（タグ）を設定します。
	印刷	写真を印刷します（54 ページ）。
	書出し	写真をメモリーカードやディスクに書き出します（53 ページ）。
フォト情報表示		写真の詳細を表示します。

お好みの写真を集めてアルバムを作るには

1 **フォト一覧（32 ページ）を表示中に、オプションボタンを押す。**

2 **[複数フォト操作] を選び、決定ボタンを押す。**

3 **[選択コピー] を選び、決定ボタンを押す。**

4 **コピーする写真を選び、決定ボタンを押す。**

全選択：リスト上の写真をすべて取り込みます。

全選択解除：選んだ写真をすべて取り消します。

5 [確定]を選び、決定ボタンを押す。

6 [はい]を選び、決定ボタンを押す。

7 [新規作成]を選び、決定ボタンを押す。

8 アルバムの名前を入力する(50 ページ)。

9 [入力]を選び、決定ボタンを押す。

手順 **8** で作ったアルバムに写真をコピーします。

メモリーカードなどに保存されている写真を見る

メモリーカードやディスク、USB ケーブルでつないだデジタルスチルカメラなどの写真を表示します。

1 ホームボタンを押す。

2 [フォト一覧]を選び、決定ボタンを押す。

3 見たいメディアや外部機器に合わせて、決定ボタンを押す。

例:[Memory Stick]を選び、決定ボタンを押す。

4 見たい写真を選んで、決定ボタンを押す。

サムネイル一覧表示中にオプションボタンでできること

表示される項目は状況によって異なります。

項目	できること
複数アルバム操作	アルバム(フォルダ)をまとめて取り込みます(30 ページ)。
複数フォト操作	写真をまとめて取り込みます(30 ページ)。
表示	メディア内の写真を表示します。
スライドショー	メディア内の写真をスライドショーで再生します。
アルバム操作	メディア内のフォルダの消去や取り込み、また、フォルダの詳細情報を表示します。
フォト取込み	メディアに保存されている写真を取り込みます(29 ページ)。
フォト情報表示	写真の詳細を表示します。

ご注意

- メディア内の写真を最大 50000 枚、フォルダを 16 階層まで表示できます。
- サムネイル一覧表示では、 1 つのフォルダ内の写真はファイル名順に 9999 枚までしか表示されません。

順番に再生する(スライドショー)

本機のアルバムに保存されている写真を順番に表示します。
アルバム内のすべての写真の再生が終わると、スライドショーは停止します。
アルバム内の写真数が非常に多いときや、写真のファイルサイズが大きいと、動作に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

1 「写真を見る」(32 ページ)の手順 4 で写真を選び、オプションボタンを押す。

2 [スライドショー]を選び、決定ボタンを押す。
スライドショーが始まります。

一時停止したいときは

1 停止したい場面でオプションボタンを押す。

2 [一時停止]を選び、決定ボタンを押す。
再開するときは、オプションボタンを押し、[スライドショー]を選び、決定ボタンを押します。

スライドショーの速度を変えたいときは

1 オプションボタンを押す。

2 [スライドショーの速さ]を選び、決定ボタンを押す。

3 [速い]または[標準]、[遅い]から選び、決定ボタンを押す。

ヒント

- 写真を再生中に(32 ページ)、決定ボタンを押すと、スライドショーが始まります。一時停止するには、もう一度決定ボタンを押します。戻るボタンを押すと、サムネイル一覧画面に戻ります。
- スライドショーの再生中にオプションボタンを押すと、オプションメニューが表示され、スライドショーは一時停止します。もう一度オプションボタンを押すと、オプションメニューの表示が消え、スライドショーが再開します。
オプションメニューから操作を行うと、スライドショーは停止します。スライドショーの速度を変えた場合は、はじめからスライドショーを再生してください。
- 非表示に設定されている写真は、再生されずにとばされます。

スクラップブックを楽しむ（x-ScrapBook）

写真を取り込んでアルバムが作成されると、本機はその中に含まれるすべての写真をレイアウトしたオリジナルのスクラップブックを自動で作成します。最大で3000 のスクラップブックを保存できます。

ヒント

スクラップブックを自動で作成しないようにするには、［x-ScrapBook、x-Pict Story 自動生成］を［切］にしてください（66 ページ）。

スクラップブックを再生する

1 **ホームボタンを押す。**

2 **［x-ScrapBook］を選び、決定ボタンを押す。**

3 **再生したいスクラップブックを選び、決定ボタンを押す。**

スクラップブックの最初のページ、または以前に再生したときに表示していたページが再生されます。
最初から再生したいときは、再生中にオプションボタンを押して、［表紙］を選び決定ボタンを押します。

再生をやめるには

戻るボタンを押します。

ヒント

- 再生中に画面表示ボタンを押すと、スクラップブックの名前を表示します。
- サムネイル一覧表示中に詳細情報ボタンを押すと、スクラップブックの詳細情報を表示します。

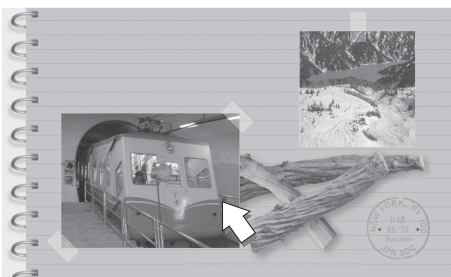
ページ送りについて

スクラップブックでは 2 つのモードを切り換えられます。
モードを切り換えるには、再生中にオプションボタンを押して、［ページモード］または［選択モード］を選んで決定ボタンを押します。

ページモード

アルバムをめくるように全体を表示します。← → でページを送ります。

選択モード

写真を個別に選んで、拡大表示できます。

右端や左端の写真を選んで ← → を押すと、ページを送ります。
↑ ↓ ← → で写真を選んで決定ボタンを押すと、個別に全画面で再生します。再生を停止するには、戻るボタンを押します。

ヒント

- 選択モードで写真を全画面で再生しているときは、選んだ写真の書き出しや印刷などができます（33 ページ）。
- スクラップブックの写真を回転するには、選択モードで写真を全画面に表示したあと、オプションメニューから［回転（右 / 左）］を選びます。

ご注意

- スクラップブックを作成したアルバムや写真を追加・消去しても、スクラップブックには反映されません。編集したアルバムからスクラップブックを作り直したいときは、新たにスクラップブックを作成してください（42 ページ）。
- 表紙と裏表紙（最後のページ）は、選択モードでも写真の選択はできません。

ページモード再生中にオプションボタンでできること

表示される項目は状況により異なります。

項目		できること
選択モード		選択モードに切り換えます。
表紙		スクラップブックを最初から再生します。
再生停止		再生を停止して、スクラップブック一覧画面に戻ります。
音楽設定		スクラップブックに BGM を設定します(41 ページ)。
編集	テーマ変更	壁紙のテーマを変更します(40 ページ)。
ページ書出し		スクラップブックをメモリーカードやディスクに書き出します(43 ページ)。
ページ印刷		スクラップブックを印刷します(54 ページ)。

選択モード再生中にオプションボタンでできること

表示される項目は状況により異なります。

項目		できること
編集	テーマ変更	壁紙のテーマを変更します(40 ページ)。
音楽設定		スクラップブックに BGM を設定します(41 ページ)。
再生停止		再生を停止して、スクラップブック一覧画面に戻ります。
表紙		スクラップブックを最初から再生します。
ページモード		ページモードに切り換えます。
表示		選んだ写真を全画面表示に切り換えます。
切取り位置調整		写真の切り取り位置を手動で調整します。
フォト削除		写真をスクラップブックから削除します。元のアルバムからは削除されません。 写真が削除されたページは新しいレイアウトで再構成されます。スクラップブック中に 1 枚しか写真がない場合は、その写真は削除できません。

サムネイル一覧表示中にオプションボタンでできること

表示される項目は状況により異なります。

項目		できること
並び替え		[日付順(新しい順)]、[日付順(古い順)]、[マーク順]、[生成順]に並び替えます。
ジャンプ		日付やマークなど、サムネイルの並び順に応じて、見たいスクラップブックへすぐに移動できます。
複数ファイル操作	選択消去	スクラップブックをまとめて消去します(44 ページ)。
	選択書出し	スクラップブックをまとめて書き出します(43 ページ)。
再生		スクラップブックを再生します。
操作	消去	スクラップブックを消去します(44 ページ)。
	名前変更	名前を変更します(50 ページ)。

項目		できること
	テーマ変更	壁紙のテーマを変更します（40 ページ）。
	マーク設定	マークを設定します。23 種類のマークから選べます。
	印刷	スクラップブックのすべてのページを印刷します（54 ページ）。
	書出し	スクラップブックをメモリーカードやディスクに書き出します（43 ページ）。
情報表示		スクラップブックの詳細を表示します。

スクラップブックを編集する

壁紙を変更するには（テーマ変更）

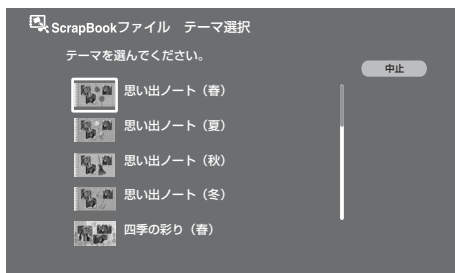
作成したスクラップブックの壁紙を、あとから変更できます。

1 ホームボタンを押す。

2 [x-ScrapBook] を選び、決定ボタンを押す。

3 スクラップブックを選び、オプションボタンを押す。

4 [操作] を選び、決定ボタンを押す。

5 [テーマ変更] を選び、決定ボタンを押す。

6 テーマを選び、決定ボタンを押す。

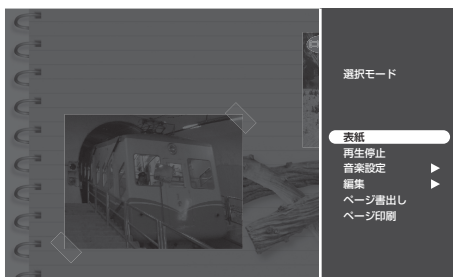
ヒント

スクラップブック再生中にオプションボタンを押し、［編集］から［テーマ変更］を選んでもテーマ変更できます。

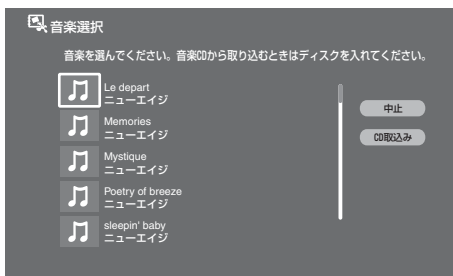
BGM を設定するには

本機に内蔵されているオリジナル BGM をスクラップブックに設定できます。お手持ちの音楽 CD の曲を BGM にしたい場合は、CD の曲を本機のハードディスクに取り込みます。

1 スクラップブック再生中にオプションボタンを押す。

例：ページモード再生画面

2 ［音楽設定］を選び、決定ボタンを押す。

3 ［音楽選択］を選び、決定ボタンを押す。

BGM を停止するには、［音楽なし］を選びます。

4 BGM にしたい曲を選び、決定ボタンを押す。

リスト上には内蔵のオリジナル BGM と、音楽 CD から取り込んだ最新の 5 曲までが表示されます。

音楽 CD から取り込んで BGM にするときは

ディスクを入れたあと、［CD 取込み］から取り込みたい曲を選び、決定ボタンを押します。CD が認識されるまでしばらく時間がかかりますので、曲一覧に移らない場合は、もう一度［CD 取込み］を押してください。

スクラップブックを作成する

お気に入りの写真を選んでアルバムを編集したときなど、新しくスクラップブックを作成できます。

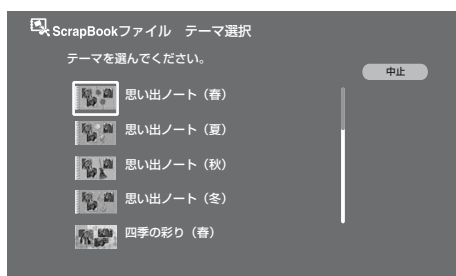
1 ホームボタンを押す。

2 [フォト一覧]を選び、決定ボタンを押す。

3 [HDD]を選び、決定ボタンを押す。

4 スクラップブックを作成したいアルバムの中の任意の写真を選び、オプションボタンを押す。

選んだ写真を含むアルバムの、すべての写真がスクラップブックに使用されます。

5 [x-ScrapBook 作成]を選び、決定ボタンを押す。

6 テーマを選び、決定ボタンを押す。

スクラップブックの再生が始まります。

作成したスクラップブックは、いつでもサムネイル一覧画面から再生できます。

お好みの写真を集めてスクラップブックを作るには

1 「お好みの写真を集めてアルバムを作るには」(34ページ)の手順**1**～**9**を行い、アルバムを作成する。

2 「スクラップブックを作成する」(42ページ)の手順**4**～**6**を行い、スクラップブックを作成する。

スクラップブックをメモリーカードやディスクに書き出す

スクラップブックに使った写真と、JPEG 画像として保存されたスクラップブックのページを、まとめてメモリーカードやディスクに書き出せます。
対応するメモリーカードやディスクの種類については、「利用できるメモリーカード一覧」（76 ページ）、「利用できるディスク一覧」（78 ページ）をご覧ください。

1 ホームボタンを押す。

2 [x-ScrapBook]を選び、決定ボタンを押す。

3 書き出したいスクラップブックを選び、オプションボタンを押す。

4 [複数ファイル操作]を選び、決定ボタンを押す。

5 [選択書出し]を選び、決定ボタンを押す。

6 書き出し先のメディアを選び、決定ボタンを押す。

7 本機にメモリーカードやディスクを入れる。

8 書き出したいスクラップブックをすべて選ぶ。

全選択：リスト上のスクラップブックをすべて選びます。
全選択解除：選んだスクラップブックをすべて取り消します。

9 [確定]を選び、決定ボタンを押す。

10 [はい]を選び、決定ボタンを押す。

ヒント

- 手順 **4**、**5** で［操作］－［書出し］を選ぶと、スクラップブックをひとつずつ書き出せます。
- ページモードで再生中に、見ているスクラップブックのページを書き出すことができます。オプションボタンを押して、［ページ書出し］を選び、決定ボタンを押します（39 ページ）。

ご注意

- 記録済みの書き換え可能ディスクや、新品（未フォーマット）のディスクを用いた場合でも、処理の途中で初期化の案内が表示されますので、あらかじめ初期化を行っておく必要はありません。画面の案内にしたがってください。
- 書き出し中にメモリーカードを抜くと、メモリーカードを破壊する可能性があります。必ず画面の案内にしたがって終了を確認し、書出しランプが消灯するのを待ってから抜いてください。
- メモリーカードやディスクに書き出したスクラップブックでは、同じ操作はできません。
- スクラップブックのデータ以外に、将来の拡張用のデータとして管理情報ファイルが書き出されます。

スクラップブックを消去する

不要なスクラップブックを消去できます。スクラップブックを消去しても、元のアルバムは消去されません。

1 ホームボタンを押す。

2 [x-ScrapBook]を選び、決定ボタンを押す。

3 消去したいスクラップブックを選び、オプションボタンを押す。

4 [複数ファイル操作]を選び、決定ボタンを押す。

5 [選択消去]を選び、決定ボタンを押す。

6 消去するスクラップブックをすべて選ぶ。

7 [確定]を選び、決定ボタンを押す。

8 [はい]を選び、決定ボタンを押す。

ヒント

- 手順 **4**、**5** で［操作］－［消去］を選ぶと、スクラップブックをひとつずつ消去できます。
- サンプルのスクラップブックは消去できません。サンプルを表示させないようにするには、アプリケーション設定メニューの［サンプル表示］を［切］に設定してください。

アルバムの写真を使ってフォト作品にして楽しむ（x-Pict Story HD）

写真を取り込んでアルバムが作成されると、本機はその中に含まれる写真から、オリジナルの BGM と顔の位置を捉えたエフェクト（映像処理）がついたハイビジョン画質のフォト作品を自動で作成します。
音楽 CD からお気に入りの曲を取り込んで BGM にすることもできます。最大で 3000 のフォト作品を保存できます。

ヒント

フォト作品を自動で作成しないようにするには、［x-ScrapBook、x-Pict Story 自動生成］を［切］にしてください（66 ページ）。

ご注意

- フォト作品はメモリーカードやディスクに書き出せません。
- ［自動画像解析］を［切］に設定して取り込んだ写真から作成したフォト作品では、顔の位置を捉える機能は働きません。

写真を楽しむ

フォト作品を再生する

1 ホームボタンを押す。

2 [x-Pict Story HD]を選び、決定ボタンを押す。

3 再生したいフォト作品を選び、決定ボタンを押す。

フォト作品の再生が始まります。

再生をやめるには

戻るボタンを押します。

ご注意

フォト作品を作成したアルバムや写真を消去・追加しても、フォト作品には反映されません。編集したアルバムからフォト作品を作り直したいときは、新たにフォト作品を作成してください（「フォト作品を作成する」48 ページ）。

サムネイル一覧表示中にオプションボタンでできること

表示される項目は状況により異なります。

項目		できること
並び替え		[日付順(新しい順)]、[日付順(古い順)]、[マーク順]、[生成順]に並び替えます。
ジャンプ		日付やマークなど、サムネイルの並び順に応じて、見たいフォト作品へすぐに移動できます。
複数ファイル操作	選択消去	フォト作品をまとめて消去できます(49 ページ)。

項目		できること
再生		フォト作品を再生します。
リピート再生		くり返して再生します。
操作	消去	フォト作品を消去します(49 ページ)。
	画像回転	フォト作品の中の写真の表示を回転します。
	名前変更	名前を変更します(50 ページ)。
	テーマ変更	BGM やテーマを変更します(47 ページ)。
	マーク設定	マークを設定します。23 種類のマークから選べます。
情報表示		フォト作品の詳細を表示します。

フォト作品を編集する

1 **ホームボタンを押す。**

2 [x-Pict Story HD]を選び、決定ボタンを押す。

3 フォト作品を選び、オプションボタンを押す。

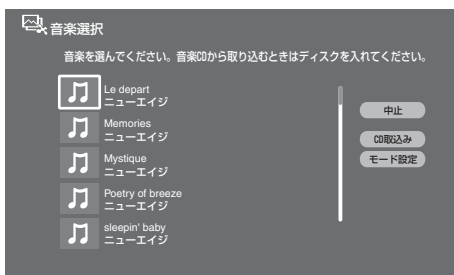
4 [操作]を選び、決定ボタンを押す。

BGMやテーマを変更するには

本機に内蔵されているオリジナルBGMや、お手持ちの音楽CDの曲をBGMに設定できます。

1 上記の手順4の後、[テーマ変更]を選び、決定ボタンを押す。

2 BGMにしたい曲を選ぶ。

リスト上には内蔵のオリジナルBGMと、音楽CDから取り込んだ最新の5曲が表示されます。

CD取込み：取り込みたいディスクを入れた後、[CD取込み]から取り込みたい曲を選びます。CDが認識されるまでしばらく時間がかかりますので、曲一覧に移らない場合は、もう一度[CD取込み]を押してください。
モード設定：作成するフォト作品の再生時間を設定できます。

項目	できること
おまかせ	曲長と使用する写真の枚数を自動的に設定します（お買い上げ時の設定）。
曲長あわせ	音楽の長さに合わせたフォト作品にします。
画像枚数あわせ	アルバム内の写真をすべて使うフォト作品にします。

オリジナル BGM を選んだ場合は、選んだ曲によりテーマが自動的に設定されます。手順 **4** へ進んでください。

3 曲に合わせたいテーマを選ぶ。

から に向かう●の数が多いほど、
エフェクトのテンポが速くなります。

4 決定ボタンを押す。

フォト作品が再生されるので、内容を確認してください。
手順 **2** でオリジナル BGM を選んだ場合は、選んだ曲によりエフェクトが変わります。セピアやモノクロになるエフェクトがありますが、故障ではありません。
また、手順 **2** で音楽 CD の曲を選んだ場合は、手順 **3** で選んだテーマによってエフェクトが変わります。

5 [実行] を選び、決定ボタンを押す。

BGM とテーマの変更が完了します。フォト作品はいつでもサムネイル一覧画面から再生できます。

ヒント

［モード設定］で［おまかせ］や［曲長あわせ］を選んだ場合は、曲の長さに合わせて表示される写真の数が変化します。

ご注意

音楽 CD から取り込んだ曲のうち、BGM リストに表示され選択できるのは最新の 5 曲までです。それ以外の曲を BGM にしたい場合は、もう一度取り込んでください。

フォト作品を作成する

お気に入りの写真を選んでアルバムを作成したり編集したときなど、フォト作品を手動で作成することができます。

1 ホームボタンを押す。

2 [フォト一覧] を選び、決定ボタンを押す。

3 [HDD]を選び、決定ボタンを押す。

4 フォト作品を作成したいアルバムの中の任意の写真を選び、オプションボタンを押す。
選んだ写真を含むアルバムの、すべての写真がフォト作品に使用されます。

5 [x-Pict Story HD 作成]を選ぶ。

6 「BGM やテーマを変更するには」(47 ページ)の手順 2 ～ 5 を行う。
作成されたフォト作品を再生します。
作成したフォト作品は、いつでもサムネイル一覧画面から再生できます。

お好みの写真を集めてフォト作品を作るには

1 「お好みの写真を集めてアルバムを作るには」(34ページ)の手順1～9を行い、アルバムを作成する。

2 「フォト作品を作成する」(48ページ)の手順4～6を行い、フォト作品を作成する。

写真を楽しむ

フォト作品を消去する

不要なフォト作品を消去できます。フォト作品を消去しても、元のアルバムは消去されません。

1 ホームボタンを押す。

2 [x-Pict Story HD]を選び、決定ボタンを押す。

3 消去したいフォト作品を選び、オプションボタンを押す。

4 [複数ファイル操作]を選び、決定ボタンを押す。

5 [選択消去]を選び、決定ボタンを押す。

6 消去するフォト作品をすべて選ぶ。

7 [確定]を選び、決定ボタンを押す。

8 [はい]を選び、決定ボタンを押す。

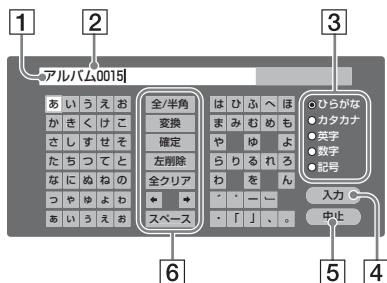
ヒント

手順 **4**、**5** で［操作］－［消去］を選ぶと、フォト作品をひとつずつ消去できます。

写真やアルバムに名前をつける

アルバムや写真、スクラップブック、フォト作品の名前を変えるときに、文字入力画面が表示されます。

文字入力画面の見かた

例：ひらがなモードの文字入力画面

1 文字入力表示エリア

入力できる最大文字数は、画面タイトル 16 文字（半角 32 文字）、タグ名 12 文字（半角 24 文字）です。

2 カーソル

3 入力文字種類切換ボタン

入力する文字の種類を切り換えます。カタカナ、英字、数字、記号を選ぶと、入力文字が変わります。

4 [入力] ボタン

入力した文字を確定して、文字入力を終了します。

5 [中止] ボタン

文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力した文字は設定されません。

6 画面内操作ボタン

項目	できること
全 / 半角	文字の全角、半角を切り換えます。
変換	入力した文字を漢字に変換します。
確定	入力または変換した文字を確定します。
左削除	カーソルの左側の文字を消します。
全クリア	入力文字表示エリアにある文字をすべて消します。
←→	カーソルを左右に移動します。
スペース	スペース（空白）を入力します。

ヒント

長音「－」とダッシュ「―」は異なる文字として認識されます。

文字を入力する

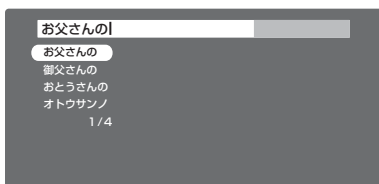
文字を入力するには ↑ ↓ ← → で画面上の文字を選びます。
また、USB キーボードを使って文字を入力することもできます。「キーボードを使って文字を入力するには」（51 ページ）をご覧ください。

例：「お父さんの Disc」と入力します。

1 [お]を選び､決定ボタンを押す。

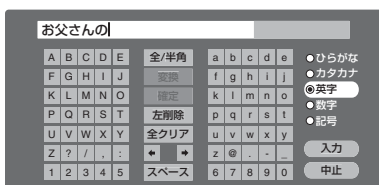
入力文字表示エリアに「お」が表示されます。
同様に「と」､「う」､「さ」､「ん」､「の」と入力します。

2 [変換]を選び､決定ボタンを押す。

最初の変換候補が表示されます。
もう一度､決定ボタンを押すと､変換候補のリストが表示されます。

3 変換候補から入力したい文字を選んで､決定ボタンを押す。

漢字変換された文節が決定されます。
続いて「Disc」を入力します。

4 [英字]を選び､決定を押す。

英字入力モードに切り換わります。

5 [全 / 半角]を選び､決定ボタンを押す。

半角で表示されます。

6 画面左側の大文字枠の[D]を選び､決定ボタンを押す。

[D]が表示されます。
同様に画面右側の小文字枠から､[i] [s] [c]を選んで､入力します。

7 [入力]を選び､決定ボタンを押す。

文字入力が終了し､元の画面に戻ります。

入力した文字を削除するには

例：「高校野球の決勝戦」から「の」を削除します。

1 [←]または[→]を選ぶ。

2 決定ボタンをくり返し押して､カーソルを「の」の右側に移動する。

高校野球の|決勝戦

3 [左削除]を選んで決定ボタンを押す。

高校野球|決勝戦

キーボードを使って文字を入力するには

USB キーボードを本機前面の USB 端子につなぐと、画面に表示されるキーボードを使わずに文字入力ができます。

アルバムや写真を消去する

1 ホームボタンを押す。

2 [フォト一覧]を選び、決定ボタンを押す。

3 [HDD]を選び、決定ボタンを押す。

4 消去したいアルバムの中の写真を選び、オプションボタンを押す。

5 [フォト操作]または[アルバム操作]を選び、決定ボタンを押す。

6 [消去]を選び、決定ボタンを押す。

7 [はい]を選び、決定ボタンを押す。

ヒント

- 手順 **5** で［複数フォト操作］を選ぶと、まとめて複数の写真を消去できます。
- スクラップブック、フォト作品を消去するときは、それぞれ 44 ページ、49 ページをご覧ください。
- サンプルのアルバムや写真は消去できません。サンプルを表示させないようにするには、アプリケーション設定メニューの［サンプル表示］を［切］に設定してください。

メモリーカードやディスクに記録する

本機に保存されている写真をメモリーカードやディスクに書き出します。使用できるメモリーカードやディスクについては、「利用できるメモリーカード一覧」(76 ページ)、「利用できるディスク一覧」(78 ページ)をご覧ください。

1 **本機にメモリーカードやディスクを入れる。**

2 **ホームボタンを押す。**

3 **[フォト一覧]を選び、決定ボタンを押す。**

4 **[HDD]を選び、決定ボタンを押す。**

5 **書き出したい写真を選び、オプションボタンを押す。**

6 **[フォト操作]を選び、決定ボタンを押す。**

7 **[書出し]を選び、決定ボタンを押す。**

8 **書き出し先のメディアを選び、決定ボタンを押す。**

9 **[はい]を選び、決定ボタンを押す。**

ヒント

- 手順 **6**、**7** で[複数アルバム操作]または[複数フォト操作]から[選択書出し]を選ぶと、複数のアルバムや写真をまとめて書き出せます。
- 手順 **6**、**7** で[アルバム操作]から[書出し]を選ぶと、アルバム全体を書き出せます。
- スクラップブックをメモリーカードやディスクに書き出せます(43 ページ)。

ご注意

- 書き出し中にメモリーカードを抜くと、メモリーカードを破壊する可能性があります。必ず画面の案内にしたがって終了を確認し、書出しランプが消灯するのを待ってから抜いてください。
- 書き出し中に本機の電源を切る操作をした場合は、画面は消えますが、書き出しは続いて行われます。書き出しが終わってから、完全に電源が切れます。
- 記録済みの DVD-R、DVD+R、CD-R には書き出せません。
- 記録済みの DVD-RW、DVD+RW、CD-RW への追加書き込みはできません。書き出しを行うと、記録済みファイルが削除されますので、ご注意ください。

PictBridge 対応プリンターでプリントする

本機後面の USB 端子と PictBridge* 対応プリンターを USB ケーブルでつなぐと、パソコンを使わずに写真や x-ScrapBook を印刷することができます。

* 「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格です。

1 ホームボタンを押す。

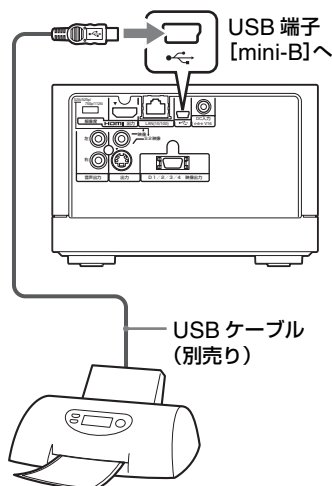
2 [フォト一覧] を選び、決定ボタンを押す。

3 [HDD] を選び、決定ボタンを押す。

4 印刷したい写真を選び、オプションボタンを押す。

5 [フォト操作]（または [アルバム操作]）から [印刷] を選び、決定ボタンを押す。

PictBridge プリンターとの接続待ち画面が表示されます。

6 本機と PictBridge プリンターを USB ケーブルでつなぎ、PictBridge プリンターの電源を入れます。

7 設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

8 設定が終わったら [印刷] を選び、決定ボタンを押す。

ヒント

- お使いのプリンターによっては、撮影日をプリントに書き込むことができます。手順 **7** で［日付印刷］–［する］を選びます。
- 手順 **5** で［複数フォト操作］から［選択印刷］を選ぶと、複数の写真を印刷できます。
- スクラップブックを印刷するときは、手順 **2** で［x-ScrapBook］を選び、スクラップブック一覧画面のオプションメニューから［操作］–［印刷］を選びます。

ご注意

- 本機とプリンターは直接つないでください。USB ハブを経由して接続した場合は、正常に動作しない場合があります。

- 液晶画面付きのプリンターにつないだ場合、プリンターに「非対応の USB 機器が接続されました」のようなエラーメッセージが表示されることがありますが、印刷は正しく行われます。それでも印刷できないときは、USB ケーブルを抜き、もう一度つないでから、手順 **6** でプリンターの電源を入れ直してください。
- スクラップブックのページを印刷したときは、プリンターによっては、ページが欠けて印刷される場合があります。
- 本体前面の USB 端子［タイプ A］につないだ場合、認識しません。本体後面の USB 端子［mini-B］につないでください。
- 両端がそれぞれ［タイプ A］、［mini-B］の USB ケーブルをお使いください。

本機とパソコンを準備する

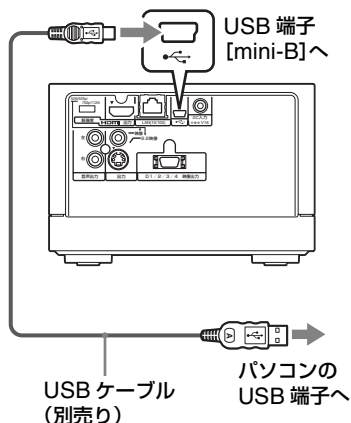
別売りの USB ケーブルまたはネットワークケーブルでつなぎます。

使用環境

- Windows Vista Ultimate
- Windows Vista Business
- Windows Vista Home Premium
- Windows Vista Home Basic
- Windows XP* Professional（Service Pack 2 以降）
- Windows XP* Home Edition（Service Pack 2 以降）

* USB 接続には Windows Media Player 11 のインストールが必要です。

ネットワークでつなぐ場合、Windows Vista/Windows XP の Home Edition では一部制約があります。

USB ケーブルでつなぐ

1 本機後面の USB 端子に、USB ケーブル(別売り)をつなぐ。

2 本機の電源を入れる。

3 USBケーブルのもう一方をパソコンにつなぐ。

本機がパソコンに接続中の状態になります。
63 ページをご覧になり、各操作を行ってください。

ヒント

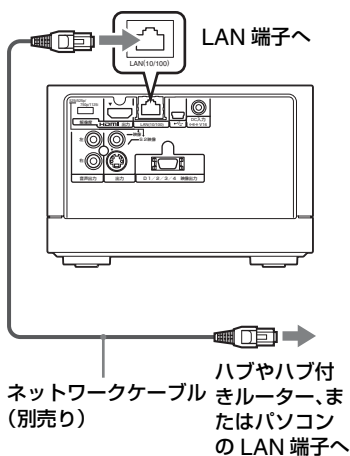
パソコンと本機をはじめてつないだときは、自動的に必要なプログラムがパソコンにインストールされます。
Windows XP をお使いの場合は、Windows Media Player11 が接続前にインストールされている必要があります。

ご注意

- 本機とパソコンを直接つないでください。USB ハブを経由すると正常に動作しないことがあります。
- パソコンとつなぐために本機を移動させる場合は、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて 1 分以上待ってから行ってください。

- 本体前面の USB 端子［タイプ A］につないだ場合、認識しません。本体後面の USB 端子［mini-B］につないでください。
- 両端がそれぞれ［タイプ A］、［mini-B］の USB ケーブルをお使いください。

ネットワークにつなぐ

本機とパソコンをネットワークケーブルでつなぎます。ご使用のネットワーク環境などにより、接続方法は異なります。「使用上のご注意」の「使用・保管場所について」（10 ページ）もあわせてご覧ください。

1 本機後面の LAN 端子にネットワークケーブル（別売り）をつなぐ。

2 ネットワークケーブルで本機をネットワークにつなぐ。

58 ページ～ 62 ページをご覧になり、接続を行ってください。

サーバーを起動するには

1 ハブまたはハブ付きルーターに接続しているときは、ハブまたはハブ付きルーターの電源を入れる。

2 パソコンの電源を入れる。

3 テレビの電源を入れ、テレビを本機につないだ入力にする。

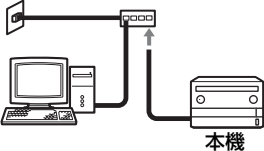
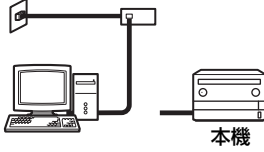
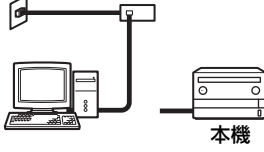
4 本機の電源を入れる。

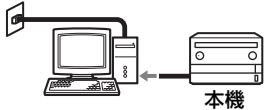
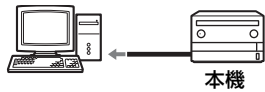
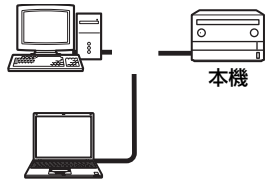
5 ホームボタンを押す。

6 ［設定］を選び、決定ボタンを押す。

7 ［ネットワーク］–［サーバー起動］を選び、決定ボタンを押す。

パソコンとの接続が始まり、サーバーが起動します。64 ページをご覧になり、各操作を行ってください。

使用環境を調べる

本機をパソコンに接続するには、パソコン本体のネットワークコネクタを使用していないか、ハブ付きルーターまたはハブに1つ以上ポートが空いている必要があります。
下記の表をご覧になり、接続方法を確認した後、「本機をネットワークに接続するには」（60ページ）で接続を行ってください。

ご注意

本機はインターネット接続には対応していません。

パソコンをネットワーク（LAN）ケーブルを使用してインターネットに接続している場合

接続環境		接続方法
A ルーター機能付きADSLモデムなど 本機	ルーター機能付きADSLモデムなどのLANポートに空きがある場合	本機とADSLモデムなどのLANポートをネットワークケーブルで接続してください。
B ルーター機能付きADSLモデムなど 本機	ルーター機能付きADSLモデムなどのLANポートに空きがない場合 ↓ ハブが必要です。	**ケース2:ハブを使って接続する場合**（61ページ）。
C ルーター機能がないADSLモデムなど 本機	ADSLモデムなどにルーター機能が付いていない場合 ↓ ハブ付きルーターが必要です。	**ケース1:ハブ付きルーターを使って接続する場合**（60ページの C）。

接続環境		接続方法
D 本機	集合住宅など、屋外の LAN に直接接続している場合 ↓ ハブ付きルーターが必要です。	**ケース 1:ハブ付きルーターを使って接続する場合**(60 ページの D)。

パソコンをネットワーク(LAN)ケーブルを使用しないでインターネットに接続している場合、またはインターネットに接続していない場合

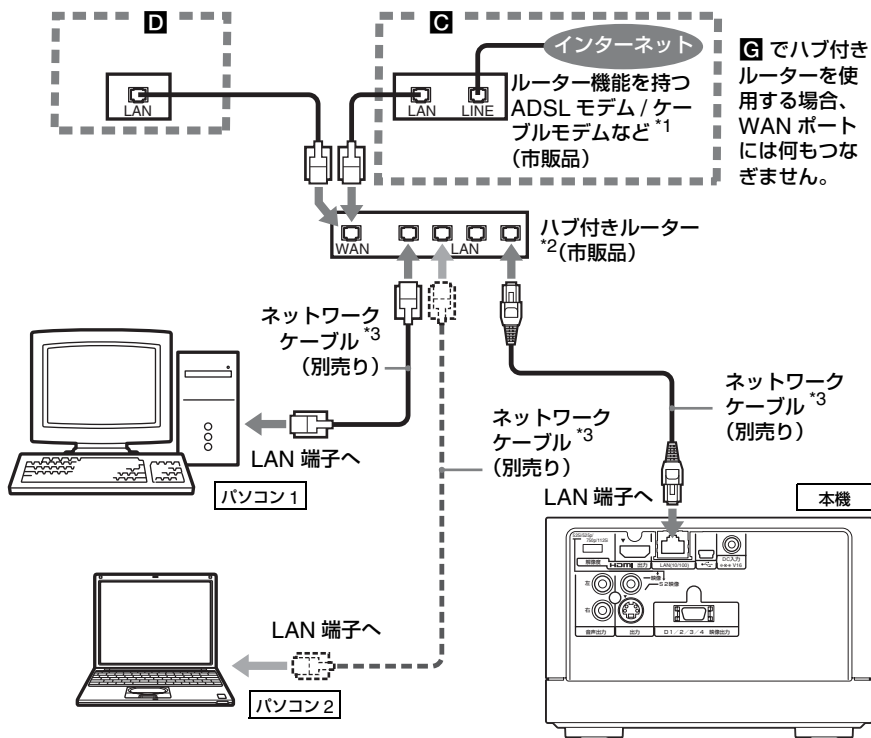
接続環境		接続方法
E 本機	内蔵モデムでインターネットに接続している場合	**ケース 3:パソコンのネットワークコネクタが空いている場合**(62 ページ)。
F 本機	インターネットに接続していない場合	
G 本機	E または F の接続環境で、複数のパソコンと接続する場合 ↓ ハブ付きルーター(またはハブ)が必要です。	**ケース 1:ハブ付きルーターを使って接続する場合**(60 ページの G)。

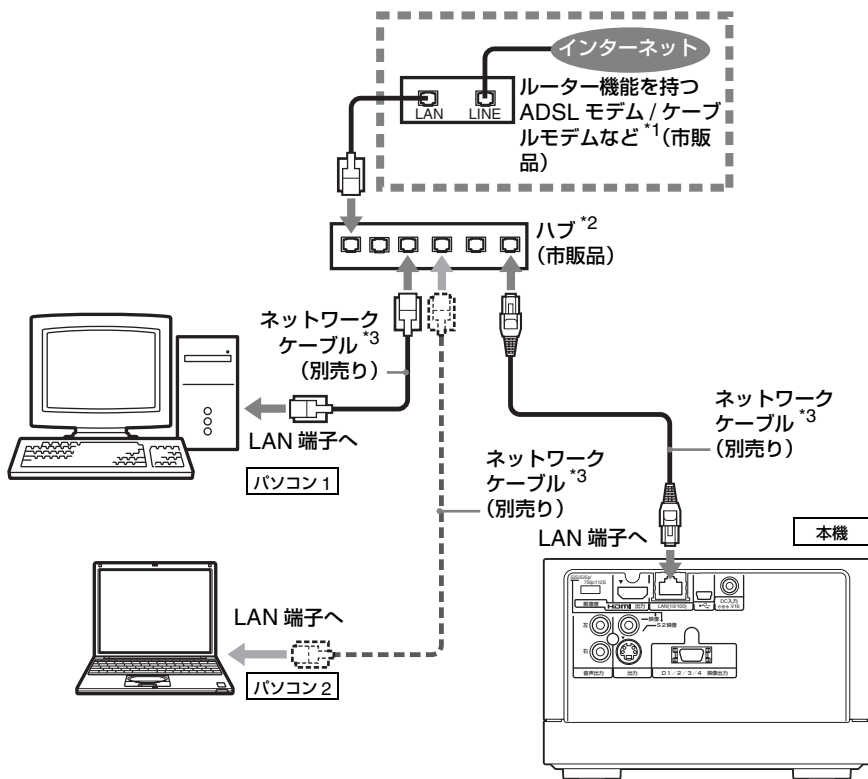
ヒント

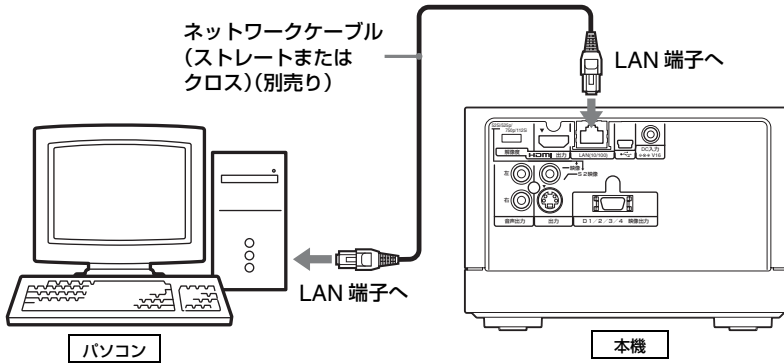
お使いの ADSL モデムなどにルーター機能があるかどうかは、ADSL モデムなどに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機をネットワークに接続するには

ネットワークケーブル（別売り）で、下図のように本機とパソコンを接続します。複数のパソコンを接続することもできます。

ケース 1：ハブ付きルーターを使って接続する場合（接続環境が C、D、G の場合）

[1] 接続環境によっては、接続方法が異なります。詳しくは、契約している接続サービス業者にお問い合わせください。
[2] 10BASE-T/100BASE-Tに対応するハブ付きルーターをお使いください。
[3] 10BASE-T/100BASE-Tに対応するネットワークケーブルを使用してください。

ケース 2:ハブを使って接続する場合(接続環境が B の場合)

*1 お客様の接続環境によっては、接続方法が異なります。詳しくは、契約している接続サービス業者にお問い合わせください。
*2 10BASE-T/100BASE-Tに対応するハブをお使いください。
*3 10BASE-T/100BASE-Tに対応するネットワークケーブルを使用してください。

ケース 3：パソコンのネットワークコネクタが空いている場合（接続環境が E、F の場合）

ご注意

上図の接続で本機とパソコンを接続した場合、下記の設定が必要です。
– パソコンの IP アドレスを「固定 IP アドレスを指定」に設定する。
– 本機の IP アドレスの取得方法を設定する（68 ページ）。

写真をパソコンから取り込む / パソコンにコピーする

本機をパソコンにつなぐと、USB ケーブルやネットワークケーブル経由で、本機とパソコンの間で写真をやりとりできます。パソコンとの接続方法は「本機とパソコンを準備する」（56 ページ）をご覧ください。
例として、Windows XP Professional が動作するパソコンを使用して説明します。

ご注意

- スクラップブックやフォト作品はパソコンにコピーできません。
- ［ExportFolder］に表示される写真は消去できません。
- 写真やフォルダの取り込みでは、写真名やアルバム名として元の名前を利用します。ただし、本機で扱える文字は、日本語と英語のみになります。それ以外の言語 / 文字で表現された名前は正しく取り込み、表示することができません。

USB ケーブル経由でパソコンから写真を取り込む

パソコンの中の写真を、USB ケーブルを通して本機に取り込みます。

1 **パソコンを立ち上げ、[マイコンピュータ]を開く。**

2 **[HDMS-S1D]（本機）をダブルクリックする。**

3 **[ImportFolder]に、パソコンの写真を、ドラッグアンドドロップで取り込む。**

4 **取り込みが終わったら、USB ケーブルを抜く。**

5 **本機の電源を切る。**

6 **本機とテレビを接続してから、本機の電源を入れる。**
取り込み確認画面が表示されます。

7 **本機の画面にしたがって、取り込みを終える。**

USB ケーブル経由で本機の写真をパソコンにコピーする

1 **パソコンを立ち上げ、[マイコンピュータ]を開く。**

2 **[HDMS-S1D]（本機）をダブルクリックする。**

3 **[ExportFolder]からパソコンのフォルダへ、写真をドラッグアンドドロップでコピーする。**

4 **コピーが終わったら、USB ケーブルを抜く。**

ネットワーク経由でパソコンから写真を取り込む

パソコンの中の写真をネットワーク経由で本機に取り込みます。

1 「ネットワークにつなぐ」(57ページ)の手順で本機のサーバーを起動します。

2 パソコンを立ち上げ、[マイ ネットワーク]を開く。

3 [ネットワーク全体]–[Microsoft Windows Network]の中の、[Workgroup]をダブルクリックする。

4 [HDMS-S1D](本機)をダブルクリックする。

5 [ImportFolder]に、パソコンの写真をドラッグアンドドロップで取り込む。

6 取り込みが終了したら、本機の画面で[終了]を選び、決定ボタンを押す。

サーバーを終了します。取り込み画面が表示されます。

7 本機の画面にしたがって、取り込みを終える。

ネットワーク経由で本機の写真をパソコンにコピーする

1 「ネットワークにつなぐ」(57ページ)の手順で本機のサーバーを起動します。

2 パソコンを立ち上げ、[マイ ネットワーク]を開く。

3 [ネットワーク全体]–[Microsoft Windows Network]の中の、[Workgroup]をダブルクリックする。

4 [HDMS-S1D](本機)をダブルクリックする。

5 [ExportFolder]からパソコンのフォルダへ、写真をドラッグアンドドロップでコピーする。

6 コピーが終了したら、本機の画面で[終了]を選び、決定ボタンを押す。

サーバーを終了します。

ご注意

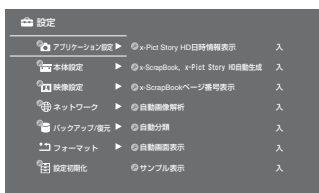
ネットワークでつないだとき、本機のアイコン（[HDMS-S1D]）がパソコンに表示されないことがあります。その場合は、Windows のアドレスバーに以下を入力してください。

- ¥¥HDMS-S1D
- ¥¥（本機の IP アドレス）（上記のように入力してもアクセスできないとき）
  例えば「¥¥192.168.0.5」と入力する。

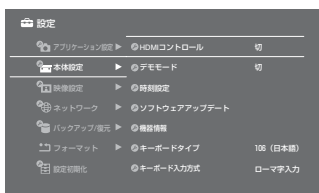
IP アドレスは［ネットワーク設定］画面（68 ページ）でご確認ください。それでも解決しないときは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、必要な操作を行ってください。

本機の設定を変更する

スライドショーや画面表示などさまざまな設定を行います。設定項目について詳しくは、設定カテゴリー一覧をご覧ください。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定]を選び、決定ボタンを押す。

3 設定を変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。

例：[本体設定]

4 各項目の設定を行い、決定ボタンを押す。

前の設定画面に戻るには

戻るボタンを押します。

設定カテゴリー一覧

次の項目を設定できます。

できること
アプリケーション設定(66 ページ) x-ScrapBook や x-Pict Story HD の自動生成や再生オプションの設定をします。
本体設定(66 ページ) 日時の設定、ソフトウェアのアップデート、ハードディスクの容量確認、デモモードの設定などができます。
映像設定(67 ページ) 表示した画像の横縦比がテレビと合わないときなど、映像に関する調整をします。
ネットワーク(68 ページ) 本機とパソコンをつなぐ場合の、ネットワークに関する設定をします。
バックアップ / 復元(68 ページ) ハードディスクのデータを DVD に書き出して保存します。また、バックアップした DVD から、データをハードディスクに復元します。
フォーマット(69 ページ) 本機のハードディスクや、挿入したメモリーカードやディスクをフォーマットします。 本機に保存した画像はすべて消去されますので、ご注意ください。
設定初期化(70 ページ) お買い上げ時の設定に戻します。時刻設定は初期化されません。保存されている画像などのデータも消去されずに残ります。

アプリケーションの設定をする（アプリケーション設定）

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

x-Pict Story HD 日時情報表示

フォト作品に日時情報を表示するかを選びます。（入 / 切）

x-ScrapBook、x-Pict Story 自動生成

写真を取り込んだとき、自動的にスクラップブックやフォト作品を作成するかを選びます。（入 / 切）

x-ScrapBook ページ番号表示

印刷や書き出しのときに、スクラップブックのページ番号を画面に表示するかを選びます。（入 / 切）

自動画像解析

取込みボタンを押して写真を取り込んだときに、顔の位置などを自動的に検出するかどうかを選びます。（入 / 切）

自動分類

取込みボタンを押して写真を取り込んだときに、日時のまとまりなどから、自動的にアルバムを分類して作成するかを選びます。（入 / 切）

自動画面表示

写真を再生したときに、再生状態やタイトルなどの情報を自動で数秒間、表示するかを選びます。（入 / 切）

サンプル表示

お買い上げ時に入っているサンプルを［フォト一覧］やサムネイル一覧に表示するかを選びます。（入 / 切）

本体の設定をする（本体設定）

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

HDMI コントロール

本機の HDMI 端子につないだ他の HDMI 機器と連動するかを選びます。たとえば“BRAVIA”リモコンと連動させるとテレビと一緒に電源を入れることができます。（入 / 切）

デモモード

本機の電源を入れたときや、一定時間操作を行わなかったときに、自動的にデモを始めるかを選びます。（入 / 切）

ご注意

スライドショーやフォト作品の再生中でも、デモは自動的にはじまります。開始させたくないときは、あらかじめ［デモモード］を［切］に設定してください。

時刻設定

本機の時刻を設定します。「時計を合わせる」（22 ページ）をご覧ください。

ソフトウェアアップデート

本機の機能を向上させるために、アップデートプログラムなどが配布されることがあります。インターネットからパソコンでダウンロードしたプログラムを、メモリーカードやディスクに保存してください。

ご注意

アップデートが完全に終わるまで、電源を切らないでください。

1 **アップデートプログラムの入ったメモリーカードやディスクを挿入する。**

2 **ホームボタンを押す。**

3 **［設定］を選び、決定ボタンを押す。**

4 **[本体設定]を選び、決定ボタンを押す。**

5 **[ソフトウェアアップデート]を選び、決定ボタンを押す。**

6 **[実行]を選び、決定ボタンを押す。**

アップデートが始まります。
終了後は自動的に電源が切れ、再起動します。

7 **[完了]を選び、決定ボタンを押す。**

機器情報

ソフトウェアのバージョンと、ハードディスクの空き容量（目安）を表示します。

キーボードタイプ

本機前面の USB 端子にキーボードをつなぐ場合に設定します。日本語入力向けの 106 キーボードと、英語の 101 キーボードから選べます。

106 日本語	日本語入力のキーボードをつなぐ場合に選びます。
101 英語	英語入力のキーボードをつなぐ場合に選びます。

キーボード入力方式

本機前面の USB 端子につないだキーボードでの入力方式を選びます。（ローマ字入力 / かな入力）

映像の設定をする（映像設定）

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

TV タイプ

テレビの横縦比に合わせて、本機から出力する映像サイズを設定します。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

16:9	ワイドテレビにつなぐときに選びます。
4:3	ワイドモード機能が搭載されていない 4:3 のテレビにつなぐときに選びます。

解像度設定

本機後面の端子からの出力映像の解像度を、お使いのテレビの解像度、または本機後面にある解像度切り換えスイッチの設定のどちらに連動させるかを選びます。

スイッチ連動	解像度スイッチの設定に連動します。
HDMI 優先	HDMI 端子接続時に、テレビの解像度に合わせて、最適な値を自動で設定します。

HDMI 設定

HDMI 端子から出力する信号の種類を選びます。

自動	自動で出力する信号を切り換えます。
RGB	RGB 信号を出力します。
Y Cb Cr	Y PB/CB PR/CR 信号を出力します。

ご注意

- ［RGB］または［Y Cb Cr］に設定していても、テレビが対応していない場合やテレビの映像設定が正しく行われていないと、本機はテレビに合わせた信号を出力します。
- “ブラビア プレミアムフォト”対応テレビと、HDMI ケーブルでつないだ場合は、［自動］に設定すると、よりよい画質でご覧いただけます。

ネットワークの設定をする(ネットワーク)

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

ネットワーク設定

ネットワーク(LAN)ケーブルを接続し、ネットワークに接続するための IP アドレスを取得します。設定する項目は状況によって異なります。

IP アドレス取得方法

固定 IP アドレスを指定	ルーターの使用状況にあわせて設定します。
DHCP を利用	ルーターの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。

[固定 IP アドレスを指定]を選んだときは、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]に、ネットワーク環境により指定された数値を入力してください。0 ～ 255 までの数字を入力できます。
[MAC アドレス]は、ネットワーク上で、ネットワークインターフェースを識別するために設定されている固有の番号を表示します。

サーバー起動

本機とパソコンをネットワークケーブルでつなぎ、本機をサーバーとして使うと、ほかのパソコンとのネットワーク内で写真のやりとりができます。
詳しくは「ネットワークにつなぐ」(57 ページ)をご覧ください。

本機のデータをバックアップ / 復元する(バックアップ / 復元)

本機のハードディスクに保存されているデータを、4.7 GB の DVD ディスク(DVD+R/DVD+RW/DVD-R/DVD-RW)にバックアップします。ハードディスクに問題が生じた場合は、バックアップディスクから復元できます。
以下のバックアップができます。

ScrapBook ファイルバックアップ

x-ScrapBook、x-ScrapBook で使った BGM を、まとめてディスクに書き出します。

Pict Story ファイルバックアップ

x-Pict Story HD、x-Pict Story HD で使った BGM を、まとめてディスクに書き出します。

アルバムバックアップ

アルバムに保存されているすべての写真を、まとめてディスクに書き出します。

ご注意

- バックアップには、8cmDVD などは利用できません。
- ハードディスクに不具合が生じたときは、サービスセンターにお問い合わせください。

1 ⏏(開/閉)ボタンを押してバックアップ用のディスクを入れる。

2 ホームボタンを押す。

3 [設定]を選び、決定ボタンを押す。

4 [バックアップ / 復元]を選び、決定ボタンを押す。

5 バックアップしたい項目を選び、決定ボタンを押す。

6 バックアップしたいデータを選び、決定ボタンを押す。

自動選択：まだバックアップされていない項目を自動で選択します。

7 [確定]を選び、決定ボタンを押す。

8 [はい]を選び、決定ボタンを押す。

ヒント

- 一度バックアップした項目には、手順 4 で"バックアップ済み"マークがつきます。[履歴消去] を選ぶと、マークを消すことができます。
- データが 1 枚のディスクに入りきらない場合は、複数のディスクにまたがってバックアップします。画面の案内にしたがってディスクを入れ換えてください。

本機にデータを復元するには（復元）

1 ⏏（開 / 閉）ボタンを押し、バックアップディスクを入れる。

2 ホームボタンを押す。

3 [設定]を選び、決定ボタンを押す。

4 [バックアップ / 復元]を選び、決定ボタンを押す。

5 [復元]を選び、決定ボタンを押す。

6 [はい]を選び、決定ボタンを押す。

複数のディスクにバックアップされている場合は、画面の案内にしたがってディスクを入れ換えてください。

ご注意

ディスクが認識されるまでには時間がかかる場合があります。

メモリーカードやディスクのデータを全消去する（フォーマット）

本機のハードディスク、挿入したメモリーカードやディスクに記録されているデータをまとめて消去できます。

ヒント

本機をお買い上げ時の設定に戻すには、ハードディスクの全消去とともに、「設定初期化」を行ってください（70 ページ）。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定]を選び、決定ボタンを押す。

3 [フォーマット]を選び、決定ボタンを押す。

4 初期化したいメディアに合わせて項目を選び、決定ボタンを押す。

5 [はい]を選び、決定ボタンを押す。

6 もう一度[はい]を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- ハードディスクを全消去すると、保存した写真はすべて消去されますので、ご注意ください。
- 本機で全消去を行ったメモリーカードが、デジタルスチルカメラ側での利用に不都合を起こす場合は、デジタルスチルカメラ側でメモリーカードを初期化しなおしてください。
- パソコンを使って本機のハードディスクを初期化しないでください。

- 本機のハードディスクを全消去しても、サンプルは消去されません。
- 記録済みの DVD-R、DVD+R、CD-R は初期化できません。

お買い上げ時の状態に戻す(設定初期化)

設定初期化

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。時刻設定以外のすべての設定項目が初期化されますので、ご注意ください。

1 **ホームボタンを押す。**

2 **[設定]を選び、決定ボタンを押す。**

3 **[設定初期化]を選び、決定ボタンを押す。**

4 **[実行]を選び、決定ボタンを押す。**

ヒント

- 設定を初期化した後は、時刻設定画面が表示されます(22 ページ)。
- 本機に保存されている写真などのデータも消去したいときは、「メモリーカードやディスクのデータを全消去する(フォーマット)」(69 ページ)の手順 **4** で[HDD 全消去]を選び、消去してください。

故障かな？と思ったら

ソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談になる前に、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、お使いのパソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

電源について

電源が入らない。

→ ACアダプターや電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。

テレビとの接続について

テレビに画像がでない。

→ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。

→ 接続コードが断線していないか確認してください。

→ テレビを本機に接続している入力(「ビデオ」など)に切り換えてください。

→ テレビの設定や映像コードの接続を確認してください(18ページ)。

→ 本体後面の解像度切り換えスイッチを確認してください。お使いのテレビの解像度に合わせてください(18ページ)。

→ つないだ端子にあわせて、テレビの接続や設定を以下のように確認してください。

– HDMI出力をご使用の場合

- HDMIケーブルの接続を確認してください。
- 映像設定メニュー の[解像度設定]が[HDMI優先] になっているか確認してください(67ページ)。

– 映像/S2映像出力をご使用の場合

- 解像度切り換えスイッチを、525i(480i)に合わせてください(20ページ)。
- 映像･音声コード、S映像コードの接続を確認してください。
- HDMIケーブルが接続されていると、HDMI出力が優先される場合があります。その場合は、本機後面にある解像度切り換えスイッチを525i(480i)に切り換えてから、HDMIケーブルを抜いてください。

画面の横縦比がおかしい。

→ テレビの横縦比に合わせて設定してください(75ページ)。

HDMIコントロール機能が働かない。

→ HDMI接続を確認してください(18ページ)。

→ 本体設定メニューで[HDMIコントロール]が[入]に設定されているか確認してください(66ページ)。

→ 接続機器(テレビ)がHDMIコントロール機能に対応しているか確認してください。

→ 接続機器(テレビ)のHDMIコントロール設定を確認してください。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

画像について

取り込んだ画像が撮影日ごとに分けられて保存されてしまう。

→ 手動で取り込んでください(29ページ)。

サムネイル一覧画面に「？」アイコンが表示される。

→ 画像以外のファイルや再生できない画像ファイルは、サムネイル画面に「？」アイコンで表示されます。本機以外で画像を加工すると、本機で再生できない場合があります。

画像が表示できない、または壊れている。

→ 本機で再生できる写真は、圧縮形式がJPEG 形式で、ファイル名形式がDCF* 形式のものと、SRF、SR2、ARW フォーマットで記録されたRAW ファイル中のサムネイルです(79 ページ)。

* (社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rules for Camera File System"のことです。

→ DCF形式以外のJPEG形式の写真(パソコンで加工した画像、Web ページからダウンロードした画像など)では、一部機能が正しく動作しないことがあります。

→ ファイルサイズが大きい写真は、サムネイルが表示されるまでに時間がかかることがあります。

→ 次の画像は再生できません。
- 縦 4097 ドットまたは、横 6145 ドット以上の JPEG 画像
- 縦または横のいずれかが、63 ドット以下の画像
- プログレッシブ JPEG の画像
- ファイルサイズが 16 MB 以上の JPEG 画像

→ 極端に細長い画像は再生できないことがあります。

→ 正常に表示できない写真から作成された、x-ScrapBook や x-Pict Story HD では、壊れた画像が含まれることがあります。

撮影日の名称のアルバムがない。

→ アルバム名は、本機に取り込んだ順に[アルバム 0001][アルバム 0002] とつけられます(28 ページ)。

画像やサムネイル表示、スライドショーの再生に時間がかかる。

→ 画像のサイズやファイル形式によっては時間がかかる場合があります。

→ 本機のハードディスクに取り込んでいないディスクやデジタルスチルカメラなどの中の写真を直接再生するときは、時間がかかる場合があります。

スライドショーが途中で止まる。

→ スライドショーは、決定ボタンを押すと一時停止します。再開するには、もう一度決定ボタンを押します。それでも途中で止まる場合は、本機を強制終了してください(74 ページ)。

スライドショーやフォト作品の再生が止まり、デモが開始する。

→ 本体設定メニューの[デモモード]を[切]に設定してください。

画像を縦に回転させたらスライドショーで上下が切られてしまう。

→ 再生中にオプションメニューから[標準]を選んでください(33 ページ)。

サムネイル表示と全画面表示とで、写真の回転状態が異なる。

→ パソコンのアプリケーションで回転した写真を取り込んだ場合は、サムネイル表示と全画面表示とで、回転状態が異なることがあります。

写真やアルバムを消去したのに、ハードディスクの空き容量が増えない。

→ 消去した写真やアルバムから作成した、x-ScrapBook や x-Pict Story HD を消去してください。

USB 接続について

USB 機器を認識しない。

→ 本機と USB 機器を直接つないでください。

→ つないだ機器が USB に対応しているか確認してください。

→ USB 機器の電源が入っているか確認してください。

→ 本機の電源が入っているか確認してください。

→ パソコンやプリンターは、本体後面のUSB 端子［mini-B］につないでください。本体前面の USB 端子［タイプ A］につないだ場合、認識しません。

→ デジタルカメラは、本体前面のUSB端子［タイプ A］につないでください。本体後面の USB 端子［mini-B］につないだ場合、認識しません。

パソコンとの接続について

パソコンに接続できない。

→ パソコンの電源が入っているか確認してください（56 ページ）。

– ネットワークにつないでいる場合

ネットワークの接続は正しいか確認してください。

- ハブ、ルーターの電源は入っているか確認してください。詳しくは、ハブ、ルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の電源を入れる前に、ルーターの電源を入れてください（57 ページ）。
- 本機とハブ、ルーターとはネットワークケーブルで接続されているか確認してください（60 ページ）。

→ 本機の電源が入っているか確認してください（56 ページ）。

– USB で接続している場合

本機の時刻設定がされているか確認してください（22 ページ）。

→ 本機とパソコンがともに処理中でないことを確認してください。処理中の場合は一度ケーブルを抜き、処理が完了してから接続しなおしてください。

パソコンから取り込んだ写真が再生できない。

→ パソコンで編集した写真は本機で再生できないことがあります。

パソコンから写真を取り込めない。

→ 取り込みたい写真が本機の［Import Folder］に保存されているか確認してください。

→ ［ImportFolder］に写真が残っている場合は、まだ取り込みが完了していません。本機の電源を切り、もう一度入れると取り込み確認画面が表示されるので、画面にしたがって取り込みを終えてください（63 ページ）。

リモコンについて

リモコンが動作しない。

→ 電池が消耗していないか確認してください。

→ リモコンを本体に向けて操作してください（16 ページ）。

→ リモコンを本体に近づけて操作してください。

リモコンでテレビを操作できない。

→ 電池が消耗していないか確認してください。

→ テレビのメーカー設定が正しく行われているか確認してください（17 ページ）。テレビによっては使えないボタンもあります。

→ 電池を交換したときは、テレビのメーカー設定をやり直す必要があります（17 ページ）。

その他

書出しランプまたは取込みボタンが、赤く点滅している。

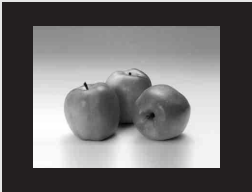
→ 本機の電源を入れ、エラーの内容を確認してください。

「HDD のデータを修復しています。」の画面が終了しない。

→ 動作中に電源コードを抜いたりした場合、ハードディスクのデータが壊れてしまうため、起動時にデータ修復を行います。通常は数分で終了しますが、場

合によっては 10 分以上、最大で 60 分かかる場合があります。修復にかかる時間は損傷の度合いに比例します。

メモリーカードが読み書きできない。

➔ パソコンでフォーマットを行ったメモリーカードは、パソコンでの読み書きが正常に行えても、デジタルスチルカメラや本機での読み書きが正常にできないことがあります。この場合は、デジタルスチルカメラでメモリーカードを初期化しなおしてください。

本機を強制終了するには

上記の項目をチェックしても問題が改善されない場合は、本体の I/⏻ ボタンを押し続けて、本機を強制終了してください。

テレビ画面の画像の見えかたについて

本機ではテレビ画面の横縦比が 16：9 の場合に正しく表示されるよう、設定されています。
4：3 のテレビで画像が正しく表示されないときは、以下のように設定を変えてください。

画像の見えかた	対処のしかた
左右に黒帯が付き、画像が縦長に表示される 	**本機で** 映像設定メニューの[TV タイプ]を[4:3]に設定します(67 ページ)。
もとの画像の周囲に黒帯が付いている 	

上記は、4：3 の横縦比で撮影した写真を、本機の標準モード（16：9）で再生した場合です。［TV タイプ］を［4：3］に設定すると、4：3 の横縦比の写真が、4：3 のテレビ画面いっぱいに表示されます。

利用できるメモリーカード一覧

本機では、下記のメモリーカードがご使用になれます。[*1]

メモリカードの種類	動作確認した最大サイズ
“メモリースティック”(マジックゲート非対応)	128 MB
“マジックゲート メモリースティック” *2	128 MB
“メモリースティック”(マジックゲート対応) *2 *3	128 MB
“メモリースティック デュオ”(マジックゲート非対応)	32 MB
“マジックゲート メモリースティック デュオ” *2	128 MB
“メモリースティック デュオ”(マジックゲート対応) *2 *3	128 MB
“メモリースティック PRO” *2 *3	4 GB
“メモリースティック PRO デュオ” *2 *3	8 GB
“メモリースティック PRO-HG デュオ” *6	4 GB
“メモリースティック マイクロ”(“M2”) *2*3*4	1 GB
SD メモリーカード *5	2 GB
miniSD™ カード *4 *5	2 GB
microSD™ カード *4 *5	2 GB
MMC(マルチメディアカード) *7	2 GB
コンパクトフラッシュ®	8 GB
マイクロドライブ®	6 GB
xD- ピクチャーカード ™	2 GB

*1 すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
本機が対応していないメモリーカードを使用した場合の動作は保証いたしません。
*2 マジックゲートを使用したデータの記録や再生はできません。
*3 パラレルデータ転送(高速データ転送)に対応しています。
転送速度はご使用のメモリーカードによって異なります。
*4 別売りのアダプターが必要です。
*5 著作権保護機能には対応しておりません。
SDHC メモリーカードには対応しておりません。
*6 転送速度は“メモリースティック PRO”と同等です。
*7 MMCplus、MMCmobile には対応しておりません。

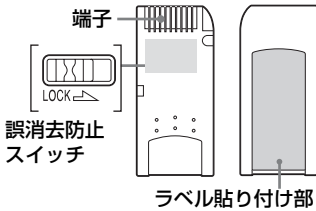
ご注意

上記以外のメディアやデバイスを、本機に挿入しないでください。

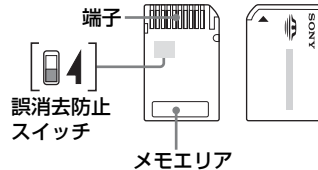
マジックゲートとは

マジックゲートは、ソニーが開発した著作権保護技術です。

“メモリースティック”使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- データの記録されている“メモリースティック”をフォーマットすると、記録されていたデータやソフトウェアはすべて消去されます。誤って重要なデータを消去しないようご注意ください。

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチが付いていない“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、誤ってデータを編集したり削除しないようご注意ください。
- 誤消去防止スイッチが付いている“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。

- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック”の持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

利用できるディスク一覧

本機では、以下のディスクがご使用になれます。

ディスクの種類	読み込み	書き込み
DVD-ROM	○	×
DVD-R（Ver2.0、2.1 に対応した 16 倍速メディアまで）	○	○
DVD-RW（Ver1.1、1.2 に対応した 6 倍速メディアまで）	○	○
DVD+R（16 倍速メディアまで）	○	○
DVD+RW（8 倍速メディアまで）	○	○
DVD-R DL（8 倍速メディアまで）	○	×
DVD+R DL（8 倍速メディアまで）	○	×
CD	○	×
CD-R	○	○
CD-RW	○	○
その他	×	×

ご注意

- DVD-RAM、Super Audio CD、Blu-ray Disc、HD-DVD はご使用できません。
- DVD-Video、DVD-Audio、ビデオ CD、ゲーム用ディスクなどの再生には対応していません。
- 読み込み可能なCDはUDF1.5以下かISO9660、DVDはUDF2.01以下でフォーマットされたものです。

ディスクに関するご注意

- 記録済みのディスクは、傷や汚れ、また、記録状態や再生機器、再生ソフトの特性などにより、再生できないことがあります。また、ファイナライズしていないディスク は再生できません。
- ディスクに対する操作（写真の取り込みや書き出しなど）を行うと、処理時間を短縮するため、ディスクの回転が速くなり回転音がします。

主な仕様

ハードディスク容量

80 GB
（システム管理領域を除く、使用可能な領域は約 76 GB。パソコン上では、1 GB を 1,073,741,824 バイトとして換算するため、約 71 GB と表示されます。容量は、1 GB を 10 億バイトで計算した場合の数値です。また、管理用ファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は若干減少する場合があります。）

メディアスロット

“メモリースティック”スロット× 1
SD メモリーカード / マルチメディアカード /xD- ピクチャーカードスロット × 1
コンパクトフラッシュ / マイクロドライブスロット× 1

対応メモリーカード

76 ページをご覧ください。

外部接続

USB タイプ A × 1
（デジタルスチルカメラ、USB キーボード接続用）
USB mini-B × 1
（PictBridge 対応プリンター、パソコン接続用）
LAN × 1
HDMI 出力（525i/525p/750p/1125i、19 ピン標準コネクタ）× 1
D 映像出力（525i/525p/750p/1125i、Y PB/CB PR/CR）× 1
映像出力（525i、NTSC）× 1
S2 映像出力（525i、NTSC）× 1
音声出力（左 / 右）× 1
DC 入力端子× 1

電源

AC100V　50/60Hz（本体：DC16V）

消費電力

38 W（最大）

環境条件

動作温度：5 ～ 35 ℃（温度勾配 10 ℃ / 時以下）
動作湿度：20 ～ 80%（ただし結露しないこと）

本体外形寸法

約 171 × 115 × 195 mm
（幅×高さ×奥行き、突起部除く）

質量

約 2.7 kg

対応ファイル形式

静止画
　JPEG：JPG
　RAW*：SRF、SR2、ARW
* RAW ファイルに含まれるサムネイルを表示します。

記録画素数 *

25,165,824 画素（＝横 6,144 ×縦 4,096）
ただし、ファイルサイズが 16 MB 以下に限る。
* 有効画素数と記録画素数とは異なりますのでご注意ください。

最大数 *

アルバム：3,000
写真：50,000
x-ScrapBook、x-Pict Story HD で利用可能な写真：50,000
1 つのアルバム /x-ScrapBook/x-Pict Story HD に含まれる写真：9,999
* 最大数はサンプルを含みます。

付属品

「付属品を確認する」（16 ページ）をご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本書中の画面表示は、実際の製品と異なる場合があります。

商標について

- MEMORY STICK、“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”、“マジックゲート メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”および“M2”は、ソニー株式会社の登録商標または商標です。
- “BRAVIA”は、ソニー株式会社の商標です。
- “ブラビア プレミアムフォト”は、ソニー株式会社の商標です。
- “ ”は、ソニー株式会社の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows ロゴ、Windows Vista™、および Windows Media® Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは省略している場合があります。
- TrueType フォントのラスタ処理は、FreeType Team のソフトウェアを基にしています。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。
- xD-Picture Card xD-Picture Card™ は、富士写真フィルム㈱の商標です。
- 新丸ゴ（シンマルゴ）® は株式会社モリサワより提供を受けており、この名称は同社の登録商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

各部の名称

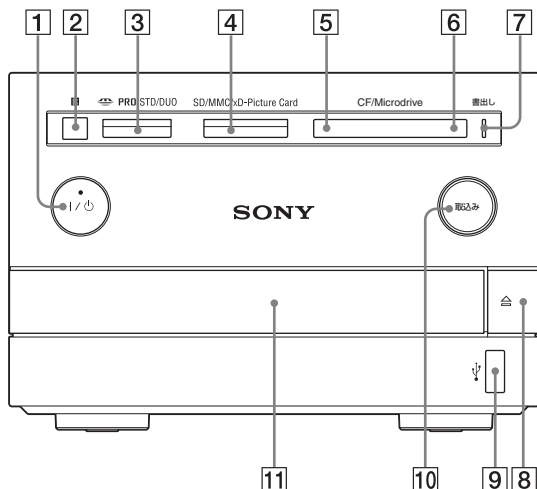
各部の説明は（　　）内のページをご覧ください。

本体前面

1 I/⏻ ボタン(21)

2 リモコン受光部(16)

3 "メモリースティック"スロット(23)

4 SD/MMC/xD ピクチャーカードスロット(23)

5 コンパクトフラッシュ/マイクロドライブスロット(23)

6 コンパクトフラッシュ/マイクロドライブスロットイジェクトボタン(24)

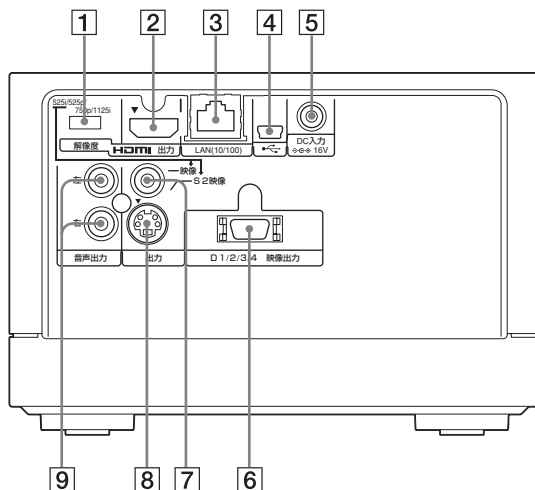
7 書出しランプ(53)

8 ⏏(開 / 閉)ボタン(25)

9 USB 端子[タイプ A](デジタルスチルカメラ、USB キーボード用)(26、51)

10 取込みボタン(27)

11 ディスクトレイ(25)

本体後面

1 解像度切り換えスイッチ（18、67）

2 HDMI 出力端子（18）

3 LAN（10/100）端子（57）

4 USB 端子[mini-B]（プリンター、パソコン接続用）（54、56）

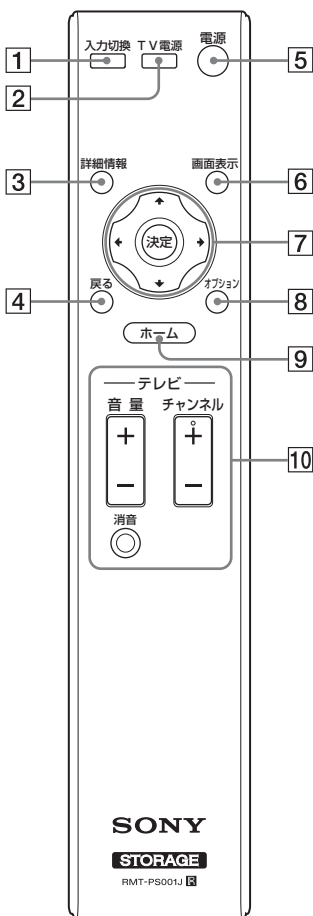
5 DC入力16V（ACアダプター入力）端子（21）

6 D1/2/3/4 映像出力端子（20）

7 映像出力端子（20）

8 S2 映像出力端子（20）

9 音声出力（左 / 右）端子（20）

リモコン

1 入力切換ボタン(17)

2 TV 電源ボタン(17)

3 詳細情報ボタン(14)

4 戻るボタン(14)

5 電源ボタン(21)

6 画面表示ボタン(14)

7 ←/→/↑/↓/ 決定ボタン(14)

8 オプションボタン(14)

9 ホームボタン(14)

10 テレビ操作ボタン(17)
- 音量＋ / －ボタン
- チャンネル＋ / －ボタン *
- 消音ボタン

* チャンネル＋ボタンには凸（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内仕様です。電源電圧の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店か、ソニーの相談窓口（裏表紙）にご連絡ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ハイビジョンメディアストレージの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後６年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

お問い合わせになるときは次のことをお知らせください。

型名：HDMS-S1D
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店

TEL.

This Hi-Vision Media Storage is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

索引

五十音順

記号・アルファベット

商品について詳しくは、http://www.sony.co.jp/HDMS/ をご覧ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「403」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389　**受付時間** 月～金：9:00～20:00　土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、
ＶＯＣ（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型
インキを使用しています。

Printed in Japan